

**各構成機関における令和 6 年度の実行状況及び
令和 7 年度の実行予定について**

【広島市自主防災連合会】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知 　　る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域と連携した、防災マップ等を活用した防災訓練による災害危険箇所等の確認〔継続〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災マップの活用に関し、地域の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認するよう、住民に促した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域と連携した、防災マップ等を活用した防災訓練による災害危険箇所や避難場所、避難経路等の確認〔継続〕
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 可能な限り携帯電話を使用するなど、停電時等でも情報を伝達できる地域の連絡網の作成を促進〔継続〕 ○ 広島市防災情報メールや避難誘導アプリなど、災害時に必要な情報の入手手段の確保についての周知〔継続〕 ○ 防災ライブカメラ設置の検討〔継続〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災訓練時に連絡網やメールで、確実に情報が伝達できるかの確認を行うよう促した。 ○ 回覧や研修会等により、避難誘導アプリや広島市防災情報メールなどの情報入手手段の確保について周知した。 ○ 広島市の防災ライブカメラの設置制度について、学区自主防災会連合会へ周知し、設置を促した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時においては、可能な限り携帯電話を使用するなど、停電時等でも情報を伝達できる地域の連絡網の作成を促進〔継続〕 ○ 広島市防災情報メールやひろしま避難誘導アプリなど、災害時に必要な情報の入手手段の確保についての周知〔継続〕 ○ 防災ライブカメラ設置の検討〔継続〕
行動する 学 　　ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災マップを活用した災害危険箇所、避難経路等の確認〔継続〕 ○ 自主防災組織等による防災訓練や防災研修会等の開催〔継続〕 ○ 地域の各種団体と連携した防災訓練、地域の特性を踏まえた防災訓練の実施〔継続〕 ○ 子どもが楽しめる防災訓練・フェアを実施〔継続〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ まちあるきや防災マップの作成に関し、住民の参加を促し、地域の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認するよう促した。 ○ 地域の各種団体と連携を図るとともに、子どもが防災に関心を持てるような防災訓練や防災研修会を開催するよう促した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災マップを活用した災害危険箇所、避難経路等の確認〔継続〕 ○ 自主防災組織等による防災訓練や防災研修会等の開催〔継続〕 ○ 地域の各種団体と連携した防災訓練、地域の特性を踏まえた防災訓練の実施〔継続〕 ○ 子どもが楽しめる防災訓練・フェアを実施〔継続〕
備 　　える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難場所までの避難が困難な場合などに備えて、一時緊急退避施設（商業施設（駐車場、マンション、社宅等）を確保〔継続〕 ○ 非常持ち出し袋や家庭内備蓄の準備などの周知〔継続〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 区役所と連携して、マンションや民間施設と浸水時緊急退避施設の協定を結び、避難場所までの避難が困難な場合に備えるよう促した。 ○ 防災訓練や研修の際、非常持ち出し袋や家庭内備蓄の必要性について、普及啓発冊子「たちまち防災」や展示見本を活用して周知した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難場所までの避難が困難な場合などに備えて、一時緊急退避施設（商業施設（駐車場、マンション、社宅等）を確保〔継続〕 ○ 非常持ち出し袋や家庭内備蓄の準備などの周知〔継続〕

【広島県消防協会】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域と連携した、ハザードマップ等を活用した防災訓練による災害危険箇所等の確認 ○ 地域住民の方と消防団（団員）と一緒にハザードマップ等を活用して、まち歩き等を実施し、危険箇所等の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域と連携した、ハザードマップ等を活用した防災訓練による災害危険箇所等の確認〔継続〕 ○ 地域住民の方と消防団（団員）と一緒にハザードマップ等を活用して、まち歩き等を実施し、危険箇所等の確認〔継続〕
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県、市町等が発表する防災・避難情報の伝達手段及び住民の自主避難体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県、市町等が発表する防災・避難情報の伝達手段及び住民の自主避難体制の構築〔継続〕
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難行動要支援者の把握及び避難訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難行動要支援者の把握及び避難訓練の実施〔継続〕
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域で日常的に行われている行事にあわせた訓練の実施（例：とんどでの消火訓練、炊き出しなど） ○ ホームページを活用し、市町で独自に取り組んでいる活動の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域で日常的に行われている行事にあわせた訓練の実施（例：とんどでの消火訓練、炊き出しなど）〔継続〕 ○ ホームページを活用し、市町で独自に取り組んでいる活動の紹介〔継続〕
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消防団が所有する機械器具を活用した避難支援体制の構築 ○ 団員確保対策の推進を関係機関と図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消防団が所有する機械器具を活用した避難支援体制の構築〔継続〕 ○ 団員確保対策の推進を関係機関と図る。〔継続〕

【広島県女性防火クラブ連絡協議会】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織等と連携し、防災マップの作成及び災害危険箇所を確認（地域、行政等と連携し、地域住民に対して災害危険箇所などの確認を働きかけ） ○ 「全国女性防火クラブの集い」及び「第23回応急手当普及啓発推進会議」、令和6年度中国・四国ブロック市町村女性防火クラブ幹部地域研修会に参加し、消防庁や日本防火・防災協会、他県から「知る」取組についての情報を得る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県女性防火クラブ連絡協議会で共有した情報を各地域クラブがクラブ員に周知する中で、防災マップの作成に参加するよう呼びかけてもらった。 ○ 消防庁や日本防火・防災協会、他県から得た「知る」取組について、能登半島地震での被害や、県内で想定される震度について女性防火クラブ指導者研修会で地域の女性防火クラブに情報提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消防庁や日本防火・防災協会、他県から研修等を通じて「知る」取組についての情報を得て、地域の女性防火クラブに情報提供を行う。 ○ 県内の女性防火クラブの活動についても情報共有を行い、効果的な取り組みについては拡散する。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害発生の危険性を察知した際には、近隣への声かけによる避難誘導をきめ細かく実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県女性防火クラブ連絡協議会で共有した情報を各地域クラブがクラブ員に周知す 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消防庁や日本防火・防災協会、他県から研修等を通じて「察知する」取組についての

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「全国女性防火クラブの集い」及び「第23回応急手当普及啓発推進会議」、令和6年度中国・四国ブロック市町村女性防火クラブ幹部地域研修会に参加し、消防庁や日本防火・防災協会、他県から「察知する」取組についての情報を得る。 	<p>る中で、災害発生の危険性を察知した際の声掛けを呼びかけてもらった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 消防庁や日本防火・防災協会、他県から得た「察知する」取組である、キキクルの利用について女性防火クラブ指導者研修会で地域の女性防火クラブに情報提供した。 	<p>情報を得て、地域の女性防火クラブに情報提供を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県内の女性防火クラブの活動についても情報共有を行い、効果的な取り組みについては拡散する。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「全国女性防火クラブの集い」及び「第23回応急手当普及啓発推進会議」、令和6年度中国・四国ブロック市町村女性防火クラブ幹部地域研修会に参加し、消防庁や日本防火・防災協会、他県から「行動する」取組についての情報を得る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県女性防火クラブ連絡協議会で共有した情報を各地域クラブがクラブ員に周知する中で、消防庁から紹介の有った防災情報ツール「キキクル」を使って情報を得て早めに避難するよう呼びかけてもらった。 ○ 消防庁や日本防火・防災協会、他県から得た「行動する」取組である、様々な立場の人が防災にかかわってもらうことの重要性を女性防火クラブ指導者研修会で地域の女性防火クラブに情報提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消防庁や日本防火・防災協会、他県から研修等を通じて「行動する」取組についての情報を得て、地域の女性防火クラブに情報提供を行う。 ○ 県内の女性防火クラブの活動についても情報共有を行い、効果的な取り組みについては拡散する。
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「全国女性防火クラブの集い」及び「第23回応急手当普及啓発推進会議」、令和6年度中国・四国ブロック市町村女性防火クラブ幹部地域研修会に参加し、消防庁や日本防火・防災協会、他県から「学ぶ」取組についての情報を得る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本防火防災協会の助成事業である女性防火クラブ員普通救命講習会救命講習会が今年度は船越女性防火クラブが助成対象となり実施した。 ○ 「全国女性防火クラブの集い」及び「第23回応急手当普及啓発推進会議」、令和6年度中国・四国ブロック市町村女性防火クラブ幹部地域研修会に参加して、女性防火クラブ指導者研修会で地域の女性防火クラブに研修内容を報告した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消防庁や日本防火・防災協会、他県から研修等を通じて「学ぶ」取組についての情報を得て、地域の女性防火クラブに情報提供を行う。 ○ 県内の女性防火クラブの活動についても情報共有を行い、効果的な取り組みについては拡散する。
備 える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 非常持出品（非常持出袋）の備えを促進（住宅用警報器に注意を促す） ○ 「全国女性防火クラブの集い」及び「第23回応急手当普及啓発推進会議」、令和6年度中国・四国ブロック市町村女性防火クラブ幹部地域研修会に参加し、消防庁や日本防火・防災協会、他県から「備える」取組についての情報を得る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県女性防火クラブ連絡協議会で共有した情報を各地域クラブがクラブ員に周知する中で、非常持出品を常時から準備するよう呼びかけてもらった。 ○ 消防庁や日本防火・防災協会、他県から得た「備える」取組についての情報を得て、地域の女性防火クラブに情報提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消防庁や日本防火・防災協会、他県から研修等を通じて「備える」取組についての情報を得て、地域の女性防火クラブに情報提供を行う。 ○ 県内の女性防火クラブの活動についても情報共有を行い、効果的な取り組みについては拡散する。

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
備える	及啓発推進会議」、令和6年度中国・四国ブロック市町村女性防火クラブ幹部地域研修会に参加し、消防庁や日本防火・防災協会、他県から「備える」取組についての情報を得る。	組である、感震ブレイカーの設置の重要性について女性防火クラブ指導者研修会で地域の女性防火クラブに情報提供した。	行い、効果的な取り組みについては拡散する。

【広島県社会福祉協議会】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
行動する	○ 被災地への応援職員派遣 ・ 全国で災害が発生した場合、現地の要請に応じて県内社協職員や広島DWA Tチーム員（福祉施設職員）の派遣、調整を行う。	○ 能登半島地震、豪雨災害に係る各活動先への応援派遣職員(1クール6泊7日実働5日) ・ 能登町災害ボランティアセンター、輪島市災害たすけあいセンターへセンター運営応援職員の派遣を行った(県社協職員1人、市町社協職員1人(4月1日~9月30日の期間で断続的に計13クール、10月1日~11月30日までの期間に計1クール))	○ 被災地への応援職員派遣 ・ 全国で災害が発生した場合、現地の要請に応じて県内社協職員や広島DWA Tチーム員（福祉施設職員）の派遣、調整を行う。
学 ぶ	○ 地域における防災・減災活動の推進支援 [継続] ・ 市町社協等が実施する災害ボランティア講座等を通して、先の災害対応を踏まえた防災・減災につながる平常時からの住民同士の支え合い活動(例; 地域における見守り活動など)づくりを支援する。	○ 地域における防災・減災活動の推進支援 ・ 市町社協等が実施する関係者のネットワーク会議や講座・訓練等(上半期:7回、7市町、下半期:12回、8市町、2団体)を通して、防災・減災につながる平常時からの住民同士の支え合い活動や関係機関の協働体制づくりを呼び掛け、取り組みを支援した。 ・ 廿日市市ボラネット推進会議と協働し、地域住民等を交えた災害ボランティアセンター運営シミュレーション訓練を実施した。	○ 地域における防災・減災活動の推進支援 [継続] ・ 市町社協等が実施する災害ボランティア講座等を通して、先の災害対応を踏まえた防災・減災につながる平常時からの住民同士の支え合い活動(例; 地域における見守り活動など)づくりを支援する。
備える	○ 災害ボランティア活動に係る資機材ストックヤードの維持管理[継続] ・ 発災時に迅速に被災者支援活動を行うための資機材調整や管理等の環境整備をすすめる。 ○ 被災者生活サポートボランティアネットワークの強化	○ 災害ボランティア活動に係る資機材ストックヤードの維持管理 ・ 市町災害ボランティアセンター等へ、迅速にボランティア活動用の資機材供給を行うために資機材管理を継続して行っている。 ○ 被災者生活サポートボランティアネットワークの強化	○ 災害ボランティア活動に係る資機材ストックヤードの維持管理 [継続] ・ 発災時に迅速に被災者支援活動を行うための資機材調整や管理等の環境整備をすすめる。 ○ 被災者生活サポートボランティアネットワークの強

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
備える	<p>[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 発災時の迅速かつ効果的な被災者支援に向けて、県外災害ボランティアセンター応援派遣の対応検証や、県域及び市町域での平時からの関係者間の情報共有、ITを活用した災害ボランティア事前登録、ニーズ管理等を含めた協働の取り組みをすすめる。 <p>○ 災害時における福祉施設・事業所の相互支援体制（広島さっそくネット）の運営支援 [継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> エリア会議未実施のエリアに働きかけ、実施に向けた支援を行う。 災害時を想定し、より実際的な備えになるよう、被害状況や必要物資の回答様式等についてワーキング会議で協議し、取り組みの改善等につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 被災者支援の県域支援ネットワークでは、市町被災者生活サポートボラネット運営者会議にて、県外応援派遣（能登町災害ボランティアセンター）の支援報告と発災時の円滑な被災者支援方策の整理を継続してすすめている。 市町被災者生活サポートボランティアセンター運営者研修にて、他県市町社協（氷見市社会福祉協議会）の生活支援をふまえた災害ボランティアセンター運営を参考に被災者支援方策について検討した。 ITを活用した災害ボランティア事前登録システムの活用により332人のボランティア登録があり（令和7年3月31日現在）、発災時の支援の整備をすすめている。また、ITシステム拡充による、ニーズ管理等含めた環境整備をすすめている。 県域ネットワークでは、課題別部会にて県内の技術系団体との意見交換を目的とした社協・プロボノ交流会を実施した。 <p>○ 災害時における福祉施設・事業所の相互支援体制（広島さっそくネット）の運営支援 [継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> エリア会議未実施のエリアに働きかけ、実施に向けた支援を行った。 災害時を想定した、より実際的な備えになるよう、被害状況や必要物資の回答様式等についてワーキング会議で協議した。 エリアリーダー会議を行い、各エリアの取り組みを共有し、それぞれの活動の参考とした。 	<p>化 [継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> 発災時の迅速かつ効果的な被災者支援に向けて、県域及び市町域での平時からの関係者間の情報共有や研修実施、ITを活用した災害ボランティア事前登録、ニーズ管理等を含めた協働の取り組みをすすめる。 <p>○ 災害時における福祉施設・事業所の相互支援体制（広島さっそくネット）の運営支援 [継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> すべてのエリアに相互支援体制が構築できるよう未構築のエリアを支援する。 災害時を想定した、実際的な備えの強化に向けて、シミュレーション訓練を実施する。 エリアリーダー会議を通じて、各エリアの取り組みを共有し、相互支援体制の強化を図る。また、各エリア内の施設・事業所のBCP（事業継続計画）に本活

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
備える	<p>○ 広島県災害福祉支援ネットワークの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害福祉支援ネットワーク会議を開催し、平時からの更なる連携強化を図る。 ・ 広島DWA T紹介動画等を活用し県民に周知すると共に、災害時に円滑に連携できるよう関係機関等に対して重ねて広島DWA Tの活動を周知する。 ・ 広島DWA T登録者を対象とした先遣チームやリーダーを担えるチーム員の養成研修を開催する。また、オンライン会議を実施し、登録員同士の顔の見える関係づくりをすすめる。 ・ 能登半島地震での広島DWA T活動をふまえ、ワーキング会議等でマニュアルの更新を行う。 	<p>○ 広島県災害福祉支援ネットワークの強化 [継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害福祉支援ネットワーク会議を開催し、平時からの更なる連携強化をすすめた。 ・ 広島DWA Tチーム員登録法人を県民に周知するため、一覧を県社協ホームページに掲載した。また、研修会、大会や各種別団体の総会でチラシを配付し、重ねて広島DWA Tを周知した。 ・ 県が主催した「広島県保健医療福祉ネットワーク会議」に参加し、関係機関との顔の見える関係づくりをすすめた。 ・ 広島DWA T登録者を対象とした、先遣チーム・チームリーダー養成研修を実施した。また、オンライン会議を実施し、登録員同士の情報交換を実施した。 ・ 活動マニュアルの更新に向け、ワーキング会議で、能登半島地震に係る広島DWA T活動をふまえた今後の活動体制について検討した。 ・ 県が主催した「中国ブロックDMA T実働訓練との合同による派遣調整訓練」に参加し、関係機関との連携と事務局の動きを確認した。 ・ 能登半島地震での広島DWA T活動をふまえた広島DWA T登録者のスキルアップ研修を実施した。 ・ 「福山市福祉避難所開設・運営合同訓練」に参加し、広島DWA Tチーム員の動きを確認し、現地保健師等との連携について学んだ。 	<p>動を明記できるよう支援する。</p> <p>○ 広島県災害福祉支援ネットワークの強化[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害福祉支援ネットワーク会議を開催し、平時からの連携強化をすすめる。 ・ 各種別団体の総会等でチラシを配付し、重ねて広島DWA Tを周知すると共に、登録チーム員の増加をめざす。 ・ 広島DWA T登録者のスキルアップに向けて研修を実施する。また「広島DWA T登録者情報交流会」を開催し、活動時にも活かせる登録員同士の顔の見える関係づくりをすすめる。 ・ ワーキング会議等を活用して、災害救助法の改正を踏まえた活動マニュアルの更新を行う。 ・ 各市町が開催する避難所等運営訓練に参加し、広島DWA Tチーム員の動きの実際を確認する。

【広島大学】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学内電子掲示板に、災害危険箇所を知るための情報（広島県防災 Web、ハザードマップ、県民総ぐるみ運動ポータルサイト）の URL を記載 [継続] ○ 各附属学校の全児童・生徒・職員に一齐防災教室の教材を配布。また、電子掲示板で学生・職員に教材等を紹介 [継続] ○ 行政等が発信する情報（災害危険箇所等の確認）について、学内電子掲示板及びメール等で学生・職員に対して情報提供 [継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学内電子掲示板に、災害危険箇所を知るための情報（広島県防災 Web、ハザードマップ、県民総ぐるみ運動ポータルサイト）の URL を記載している。 ○ 各附属学校及び電子掲示板で学生・職員に教材等を紹介した。 ○ 行政等が発信する情報（災害危険箇所等の確認）について、学内電子掲示板で学生・職員に対して情報提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学内電子掲示板に、災害危険箇所を知るための情報（広島県防災 Web、ハザードマップ、県民総ぐるみ運動ポータルサイト）の URL を記載 ○ 各附属学校の全児童・生徒・職員に一齐防災教室の教材を配布。また、電子掲示板で学生・職員に教材等を紹介 ○ 行政等が発信する情報（災害危険箇所等の確認）について、学内電子掲示板及びメール等で学生・職員に対して情報提供
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学内電子掲示板で、学生・職員に対して県防災 Web の周知及び防災情報メール（県・市）登録方法を情報提供 [継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学内電子掲示板で、職員に対して県防災 Web の周知及び防災情報メール（県・市）の登録情報を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学内電子掲示板で、学生・職員に対して県防災 Web の周知及び防災情報メール（県・市）登録方法を情報提供
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害発生時の対応に係るマニュアルについて、学内掲示板に掲示するとともに、学生・職員に対して周知を徹底 [継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害発生時の対応に係るマニュアルについて、学内掲示板に掲示するとともに、学生・職員に対して周知した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害発生時の対応に係るマニュアルについて、学内掲示板に掲示するとともに、学生・職員に対して周知を徹底
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学内電子掲示板に非常用物品の取り扱い方法や防災情報等を掲載 [継続] ○ 学生・職員への安全衛生教育で、地震対策・防災情報等について周知 [継続] ○ 災害に備えた危機管理の一環として、構成員を対象に実施した安否確認訓練結果をもとに、構成員の意識付けについて取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学内電子掲示板に非常用物品の取り扱い方法や防災情報等を掲載している。 ○ 地震対策・防災情報等について、学内電子掲示板等に掲示するとともに学生・職員に対して周知を行った。 ○ 構成員を対象に、9/26 に安否確認訓練を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学内電子掲示板に非常用物品の取り扱い方法や防災情報等を掲載 ○ 学生・職員への安全衛生教育で、地震対策・防災情報等について周知 ○ 災害に備えた危機管理の一環として、構成員を対象に安否確認訓練を実施
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 非常持出品の保管状況を確認し、補充等を行う [継続] ○ 専門業者による防災管理点検を行い、改善が必要な箇所については是正 [継続] ○ 「安否確認等マニュアル」及び「安否確認手順書の改定」に引き続き取り組む [継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 非常持出品の保管状況を確認し、補充等を3月に行う予定。 ○ 専門業者による防災管理点検（10月）を行った。 ○ 「安否確認等マニュアル」及び「安否確認手順書の改定」に引き続き取り組んだ。 ○ より実効可能な防災マニュアルにするため、マニュアル 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 非常持出品の保管状況を確認し、補充等を行う ○ 専門業者による防災管理点検を行い、改善が必要な箇所については是正 ○ 「安否確認等マニュアル」及び「安否確認手順書の改定」に引き続き取り組む ○ 現在の防災関連マニュアルについて改訂し、より実効可

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
備える	<p>○ 防災・減災研究センター関係</p> <p><調査研究></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ががら山実証実験プロジェクトなど相乗型豪雨災害のメカニズムの解明、災害を未然に防ぐための早期検知システム等の開発などの調査研究、災害に強いまちづくりの支援などに取り組む。 <p><情報発信></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災意識の向上のため、セミナー、シンポジウムなどの情報発信に取り組む。 	<p>の整理に着手した。</p> <p>○ 防災・減災研究センター関係</p> <p><調査研究></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ががら山、広島市西区田方、東広島市黒瀬町本岳の各観測フィールドにおいて、相乗型豪雨災害のメカニズムの解明に向けて土砂災害の防止・軽減に向けた研究・調査を行った。 <p><情報発信></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災意識の向上のため、セミナー、シンポジウムなどの情報発信に取り組んだ。 - 4/21～24 ネパール・カトマンズ市で活断層に関する企画展「プレート境界断層に触ろう～ネパールヒマラヤの地震断層剥ぎ取り展」 - 5/23、30、6/6 公開講座「災害医療の現状と課題～広島大学の活動」 - 8/26 中国地方防災研究会「8.20 広島土砂災害」から10年 あのとときの課題はどう克服されてきたか？ - 10/19 ぼうさいこくたい in 熊本「地域防災×生成AI」の未来像Ⅱ～地域防災の取組がさらに進化し、継続できる仕組みの検討～に参加した。 - 10/26 「みんなで減災」推進大使の大隅智子氏の講演など、防災・減災セミナー2024～みんなで学び実践しようを開催した。併せて、地域住民による防災ワークショップ、地震体験・防災グッズ展示等の防災フェアを行った。 - 11/10 広島市防災セミナー「伝えていこう命を守る災害のはなし」にセンター長を講師として派遣した。 	<p>能なものにする。</p> <p>○ 防災・減災研究センター関係</p> <p><調査研究></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相乗型豪雨災害のメカニズムの解明や災害を未然に防ぐための早期検知システムの開発などに関する研究調査、国・自治体との共同研究などに取り組む。 <p><情報発信></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災に関する様々な情報や資料の収集・公開や、防災意識の向上のため、公開講座、シンポジウムなどの情報発信に取り組む。

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
備える	<p><社会連携></p> <ul style="list-style-type: none"> 12月、国土交通省中国地方整備局と最先端の調査研究・新技術を活用した防災・減災対策、調査研究などについて、意見交換、情報交換を行う。 国、自治体を実施する職員研修、防災士養成研修などの危機管理人材の育成を支援する。 地域防災力の強化、人材育成のため、防災シニア・フェローを中心として地域と連携した活動に取り組む。 	<p><社会連携></p> <ul style="list-style-type: none"> 6/3 防災・減災研究センター連携自治体会議を開催し、県、20市町等が出席し、防災研究調査の成果の共有、意見交換を行った。 防災人材の育成を図るため、県や自治体の防災担当職員の研修等で講義を行った。 7/20 地域主催の防災フェアに防災シニア・フェロー派遣などの支援を行い、地域防災力の強化や防災人材育成を行った。 国、自治体を実施する職員研修、防災士養成研修などの危機管理人材の育成、地域住民が取り組む地域防災活動などをセンター長、研究員、防災シニア・フェロー等が支援した。 	<p><社会連携></p> <ul style="list-style-type: none"> 国・自治体との連携強化のため、防災対策や課題、研究調査等の情報・意見交換会などを定期的に開催する。 防災人材の育成、地域防災力の強化のため、国・自治体の職員、防災リーダー・防災士等の研修、地域の防災活動などを支援する。

【広島県私立中学高等学校協会】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> 各校を設置する学校法人は、その規模や置かれた環境が異なり、個々で活動しているため、協会としての統一的な取組を行うことは、協会という立場からは難しいと判断している。そのため、各法人に意識向上を図るよう、会議等を利用して要請することにとどめることとする。 災害について周知しておいた方がよい事案等が発生した場合は各校へ周知等行うこととしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校が防災訓練、避難訓練等により日頃から災害時の対応について留意している。協会として定期的な取組については行っていない。災害について周知しておいた方がよい事案等が発生した場合は各校へ周知等を行うこととしている。 広島県「みんなで減災推進課」からの情報を必要に応じて学校へ案内している。 	<ul style="list-style-type: none"> 各校を設置する学校法人は、その規模や置かれた環境が異なり、個々で活動しているため、統一的な取組を行うことは、協会という立場からは難しいと判断している。そのため、各法人に意識向上を図るよう、会議等を利用して要請することとする。 災害について周知しておいた方がよい事案等が発生した場合は各校へ周知等行うこととする。
備える	<ul style="list-style-type: none"> 学校が防災訓練、避難訓練等により日頃から災害時の対応について留意している。 	<ul style="list-style-type: none"> 左記の訓練等に留意し要請した。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校が防災訓練、避難訓練等により日頃から災害時の対応について留意し、事案等については必要に応じて共有できるように取り組む。 災害時の私立学校生を主とした緊急避難先の設営について検討する。

【広島県PTA連合会】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知る	○ 役員会や理事会において、防災教育に関する議題や情報交流を行う。[継続]	○ 役員会や理事会において、防災教育に関する議題や情報交流を行った。	○ 役員会や理事会において、防災教育に関する議題や情報交流を行う。また、全国各地でのPTAにおける取組状況の情報を集め、各郡市PTA連合会や各学校の単位PTA連合会に提供する。
察知する	○ 家庭の中において、様々なツールの活用を子どもと保護者で話題にして、防災に備える取組を進めていくよう会員に周知する。[継続]	○ 家庭の中において、様々なツールの活用を子どもと保護者で話題にして、防災に備える取組を進めていくよう会員に周知した。 ○ 各地域の代表である理事を通して、家庭内における防災の取組を進めていくよう取り組んだ。	○ 家庭の中において、様々なツールの活用を子どもと保護者で話題にして、防災に備える取組を進めていくよう会員に周知する。 ○ 日ごろから防災関係のニュースに関心を持たせるような働きかけを親として行うよう取り組んでいく。
行動する	○ 広島県が推進する「学びの变革」の中で、「想定外」の事態に対しても、自分で情報を集め、自分で考え、自分で判断し行動できる子供を育てていくことができるよう、連携をとって進めていく。[継続]	○ 広島県が推進する「学びの变革」の中で、「想定外」の事態に対しても、自分で情報を集め、自分で考え、自分で判断し行動できる子供を育てていくことができるよう、連携をとって進めた。 ○ 学校教育と連携しながら、家庭でも自ら考え判断し行動していく子供の育成について、研修会等を通じて協議を行った。	○ 広島県が推進する「学びの变革」の中で、「想定外」の事態に対しても、自分で情報を集め、自分で考え、自分で判断し行動できる子供を育てていくことができるよう、連携をとって進めていく。
学ぶ	○ 広報紙などを活用し、防災にかかわる情報等を積極的に会員に提供する。[継続]	○ 広報紙などを活用し、防災にかかわる情報等を積極的に会員に提供した。 ○ 各地の郡市PTA連合会事務局を通じて、各種防災情報を提供し、学びの素材として活用してもらう取組を行った。	○ 広報紙などを活用し、防災にかかわる情報等を積極的に会員に提供する。 ○ 日本PTA全国協議会等、全国の他のPTA組織や関係機関からの防災情報を各郡市PTA連合会を通して単位PTAに提供する。
備える	○ PTAとしても、家庭で災害が来る前の準備（連絡方法や災害が起こった時の行動）など、子どもと共有しておく取組を推進していくよう協議する。[継続]	○ PTAとしても、家庭で災害が来る前の準備（連絡方法や災害が起こった時の行動）など、子どもと共有しておく取組を推進していくよう協議・働きかけを行った。	○ PTAとしても、家庭で災害が来る前の準備（連絡方法や災害が起こった時の行動）など、子どもと共有しておく取組を推進していくよう協議する ○ 学校とPTA等が毎年共同でおこなっている防災訓練などの折に、防災時の備えについてもみんなで考える機会を設定するよう働きかけす。

【広島県商工会議所連合会】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知 る	○ 主催会議や行事等の機会を通じ、会員に対し災害危険箇所、避難場所・経路の確認が進むよう取組を促す。	○ 左記の取組を実施。	○ 主催会議や行事等の機会を通じ、会員に対し災害危険箇所、避難場所・経路の確認が進むよう取組を促す。[継続]

【広島県商工会連合会】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知 る	○ 各商工会における主催会議や行事等の機会を通じ、会員に対し、災害危険箇所、避難場所・経路の確認が進むよう取組を促す。[継続]	○ 県内商工会の事業継続力強化支援を推進するため、商工会員事業者向けに、下記のセミナーを開催。 ① 事業継続リスク啓発オンラインセミナー (11月26日48名・12月4日開催46名) ② 事業継続力強化計画策定オンラインセミナー (12月16日開催31名) ③ 事業継続力強化計画策定(5件)	○ 各商工会における主催会議や行事等の機会を通じ、会員に対し、災害危険箇所、避難場所・経路の確認が進むよう取組を促す。
察知する	○ 必要な時に必要な情報が早期に収集できるように、災害情報の入手先(ホームページ、メール登録、電話番号等)を纏めて(登録して)おく。[継続]	○ 広島県商工会連合会 BCP の災害関連情報入手先を更新(併せて、ハザードマップ、関係機関連絡先等更新)を実施した。	○ 必要な時に必要な情報が早期に収集できるように、災害情報の入手先(ホームページ、メール登録、電話番号等)を纏めて(登録して)おく。 ○ 発災時に、全職員に情報や指示を早急に通知するための手順の確立
行動する	○ 業務用 SNS での定期的な確認訓練を実施し、非常時における行動を身に着けることと、連絡体制に不備がないか確認する。[継続]	○ 業務用 SNS を活用して、10月25日に職員安否確認を実施した。これにより、職員への非常時行動及び連絡体制確立等についての意識付けが実施できた。引き続き、発災時の通信手段として業務用 SNS を積極的に活用し、併せて訓練も計画する。	○ 業務用 SNS での定期的な確認訓練を実施し、非常時における行動を身に着けることと、連絡体制に不備がないか確認する。
学 ぶ	○ 県や市町からの依頼があれば、商工会主催の祭等イベントにて、ブース等を提供する。[継続] ○ 県内商工会事務局長会議において、災害対応等を学ぶ研修会を実施する。[継続] ○ 県内商工会の正副会長を対象とした防災に関する研修会を実施する。[継続]	○ 左記の取組を継続実施。	○ 県や市町からの依頼があれば、商工会主催の祭等イベントにて、ブース等を提供する。 ○ 県内商工会事務局長会議において、災害対応等を学ぶ研修会を実施する。 ○ 県内商工会の正副会長を対象とした防災に関する研修会を実施する。

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発災時の被害を減少できるように、広島県商工会連合会事務所内の環境改善を行う。 ○ 全職員に対して「職員携行カード」の携行を促す。[継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を継続実施。 ○ 「職員携行カード」は新入職員に対して配布を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発災時の被害を減少できるように、広島県商工会連合会事務所内の環境改善を行う。 ○ 広島県商工会連合会BCPを改善し、運用開始。 ○ 全職員に対して「職員携行カード」の携行を促す。

【広島県農業協同組合中央会】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会員組合（5JA、連合会）に対して、会議や研修会等の機会を利用して、災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認などを継続的に周知 [継続] ○ 台風・大雨・大雪等の予報発生時に、災害情報の収集・共有化を図る体制を継続して構築する。 [継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会員組合（5JA、連合会）に対して、会議や研修会等の機会を利用して、災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認などを継続的に周知。また、被害発生時に再周知。 ○ 6月、7月、11月の大雨被害発生時と、8月の台風接近時に、災害情報の早期収集のための調査実施。※調査を実施した結果、特段の対応は不要との判断。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会員組合（5JA、連合会、関連団体）に対して、会議や研修会等の機会を利用して、災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認などを周知する。 ○ 台風・大雨・大雪等の予報発生時に、災害情報の収集・共有化を図る体制を継続して構築する。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県のHP等により、台風・大雨・大雪等各種の「災害対策本部」の設置状況・災害情報に注目し、必要な情報を収集し、周知する。 [継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6月、7月、11月の大雨被害発生時と、8月の台風接近時、広島県のHP等により、「災害対策本部」の設置状況・災害情報に注目し、必要な情報を収集した。また、その際、広島県JA災害対策本部を立ち上げ、JA施設被害・農業被害を調査した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県のHP等により、台風・大雨・大雪等各種の「災害対策本部」の設置状況・災害情報に注目し、必要な情報を収集し、周知する。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 入居するビルで実施する防災訓練等へ参加 [継続] ○ RCCラジオの防災企画に協賛 [新規] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 入居するビルで実施する防災訓練（7/3開催、災害を想定した救護・通報・消火等）へ職員代表として数名参加し、同日事務所職員も避難訓練を行った。 ○ RCCラジオの防災企画に職員が出演し、防災機能の維持には「農地の保全による、農業の多面的機能の発揮」が重要となることを周知した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 入居するビルで実施する防災訓練等へ参加
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災の意識づけにかかる研修等の実施 [継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 未実施。令和7年度以降開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災の意識づけにかかる研修等の実施。

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ マイ・タイムラインのJA等での活用（職員向け周知または組合員向け広報誌等）に向けた再周知 マイ・タイムラインの中央会内職員への再周知 ○ 防災グッズの在庫管理（使用期限等の確認含む）・備置（マスクなど）〔継続〕 ○ 災害協定締結状況の最新の状況について、再調査を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○ マイ・タイムラインのJA等での活用（職員向け周知または組合員向け広報誌等）に向けた周知を過去実施。 マイ・タイムラインの中央会内職員への周知を過去実施 ○ 防災グッズに感染症対策を意識した備品を引き続き備置 ○ 災害協定締結状況調査を過去実施済 	<ul style="list-style-type: none"> ○ マイ・タイムラインの活用促進 ○ 防災グッズの在庫管理（使用期限等の確認含む）・備置（マスクなど） ○ 会員組合（5JA、連合会）に対して、行政等との災害協定締結状況を把握し、JAにおける地域防災活動への支援に取り組む。また、他組合の取り組みについて共有を図る。

【広島県宅地建物取引業協会】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「不動産取引の機会を捉えた防災情報の周知」と「みんなで減災」県民総ぐるみ運動について、当協会が実施する研修会・講習会等で会員に周知徹底し、全会員の理解と履行協力を求める。 ○ 当協会ホームページに「防災WEB」のバナーを掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宅地建物取引士を対象とした法定講習会(上半期9回、下半期11回を計画通り実施)において、「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」パンフレットを配布した。（継続） ○ 協会HPや会報誌「宅建ひろしま」において、「土砂災害防止法の基礎調査結果の公表について」等の行政からのお知らせを掲載し会員に周知している。（継続） ○ 広島県「みんなで減災」備えるフェアリーフレットを本部・支部へ配布し、会員や来協者周知を図った。 ○ 当協会ホームページに「広島県防災WEB」のバナーを掲載している。（継続） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「不動産取引の機会を捉えた防災情報の周知」と「みんなで減災」県民総ぐるみ運動について、当協会が実施する研修会・講習会等で会員に周知徹底し、全会員の理解と履行協力を求める。〔継続〕 ○ 当協会ホームページに「防災WEB」のバナーを掲載〔継続〕
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 『みんなで減災』一斉地震防災訓練に参加することとし、同じ建物内で勤務している支部職員や広島宅建(株)の職員にも、参加を呼び掛ける。〔継続〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5/20～6/30の「みんなで減災」一斉防災訓練へ協会本部・支部全職員へ参加・学習を呼びかけた。また、広く会員・一般へ周知するため、協会HPでも案内した。 ○ 11/5の『みんなで減災』一斉地震防災訓練へ協会本部・支部・関連会社の全職員へ参加・学習を呼びかけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 『みんなで減災』一斉地震防災訓練に参加することとし、同じ建物内で勤務している支部職員や広島宅建(株)の職員にも、参加を呼び掛ける。〔継続〕

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
備える	<ul style="list-style-type: none"> 『町内会・自治会等の加入促進に関する協力協定（広島市）』、『町内会等地域活動の促進、防災・減災等に関する包括連携協定（安芸郡府中町）』、『自治会・町内会の加入促進に関する協力協定（福山市・福山市自治会連合会）』、『包括連携に関する協定（安芸郡海田町）』を基に、引き続き、会員を通じて、減災につながる地域の結びつきの強化を行う。[継続] 	<ul style="list-style-type: none"> 各協力協定に基づいて、会員を通じて「町内会・自治会等に関する情報提供を行うとともに、新規入居者へ自治会・町内会加入を働きかけ、減災に繋がる地域社会の実現に向けて継続的に取り組んでいる。(継続) 広島県との「大規模災害時における民間賃貸住宅の媒介等に関する協定書」に基づく担当者会議へ出席、発生時の対応を確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> 『町内会・自治会等の加入促進に関する協力協定（広島市）』、『町内会等地域活動の促進、防災・減災等に関する包括連携協定（安芸郡府中町）』、『自治会・町内会の加入促進に関する協力協定（福山市・福山市自治会連合会）』、『包括連携に関する協定（安芸郡海田町）』を基に、引き続き、会員を通じて、減災につながる地域の結びつきの強化を行う。[継続]

【全日本不動産協会広島県本部】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> 会報誌に、「不動産取引の機会を捉えた防災情報の周知に関する協力協定」に基づき、不動産取引等の際にハザードマップなどの提示による防災情報の周知、『みんなで減災』県民総ぐるみ運動に関する内容等を掲載し、全会員へ向けて取組促進 [継続] 当協会が実施する研修会、講習会等において、「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」のパンフレットの配布、県担当者を招いての講義等を行い、取組促進 [継続] 	<ul style="list-style-type: none"> 全日広島県本部会報誌「全日ひろしま」Vol. 59(12月発行)に「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」について掲載し、ひろしまマイ・タイムラインなどの作成等について会員に周知 宅地建物取引士を対象とした法定講習会を実施。 <ul style="list-style-type: none"> 上半期2回（令和6年6月26日、令和6年9月18日） 下半期2回実施のうち1回実施済（令和6年12月4日、令和7年3月5日） ※ 令和4年度からeラーニング形式で利用する動画視聴の講習へ切り替え】において、「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」パンフレットを配布し周知 当県本部会員を対象とした法定研修会【令和7年2月12日）において、広島県みんなで減災推進課 職員を講師に招き、「近年の自然災害と備えについて」の講演を行っていただいた。研修会会場にて、「地震チラシ」パンフレットを出席者に配布し周知（約150名受講） 	<ul style="list-style-type: none"> 会報誌に、「不動産取引の機会を捉えた防災情報の周知に関する協力協定」に基づき、不動産取引等の際にハザードマップなどの提示による防災情報の周知、『みんなで減災』県民総ぐるみ運動に関する内容等を掲載し、全会員へ向けて取組を周知 当協会が実施する研修会、講習会等において、「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」のパンフレットの配布、県担当者を招いての講義等を行い、取組を周知

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知 る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 協会ホームページのトップページに、防災に関する行政機関のホームページのバナーを掲載〔継続〕 ○ 「ひろしま防災ハンドブック」を利活用して、災害時への準備や対応について啓発促進。〔継続〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 協会ホームページのトップページに、防災に関する行政機関のホームページのバナーを掲載〔継続〕 ○ 「ひろしま防災ハンドブック」を利活用して、災害時への準備や対応について啓発促進した。〔継続〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 協会ホームページのトップページに、防災に関する行政機関のホームページのバナーを掲載〔継続〕 ○ 「ひろしま防災ハンドブック」を利活用して、災害時への準備や対応について啓発促進〔継続〕
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「Yahoo! 防災速報」アプリに登録〔継続〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全日広島県本部職員が、「Yahoo! 防災速報」アプリに登録し、防災に備える。〔継続〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全日広島県本部職員が「Yahoo! 防災速報」アプリに登録し、防災に備える。〔継続〕
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県が実施する『みんなで減災』一斉地震防災訓練について、例年どおり会員へ周知する。 ○ 全日広島県本部職員全員で、『みんなで減災』一斉地震防災訓練に参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県が実施する『みんなで減災』一斉地震防災訓練について、例年どおり会員へ周知した。 ○ 全日広島県本部職員全員で、令和6年11月5日の『みんなで減災』一斉地震防災訓練に参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県が実施する『みんなで減災』一斉地震防災訓練について、当県本部ホームページお知らせ欄に掲載し、一般及び会員へ周知 ○ 全日広島県本部職員全員で『みんなで減災』一斉地震防災訓練に参加
備 える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島市・福山市と締結した「町内会・自治会等の加入促進に関する協力協定書」に基づき、入居世帯への町内会・自治会加入の働きかけに協力するよう会員に周知〔継続〕 ○ 広島県と締結した「大規模災害時における民間賃貸住宅の媒介等に関する協定書」に基づき、災害が起こった際に迅速に対応できるよう当協会独自のマニュアルを作成〔継続〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島市・福山市と締結した「町内会・自治会等の加入促進に関する協力協定書」に基づき、入居世帯への町内会・自治会加入の働きかけに協力するよう会員に周知〔継続〕 ○ 町内会加入促進のポスターを事務所内に掲示〔継続〕 ○ 当協会が実施する研修会において、パンフレット「町内会に入りましょう」の配布及び市担当者を招いての講義等を行い、取組を周知した。 ○ 広島県と締結した「大規模災害時における民間賃貸住宅の媒介等に関する協定書」に基づき、災害が起こった際に迅速に対応できるよう当協会独自のマニュアルを作成、保管 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島市・福山市と締結した「町内会・自治会等の加入促進に関する協力協定書」に基づき、入居世帯への町内会・自治会加入の働きかけに協力するよう会員に周知 ○ 広島県と締結した「大規模災害時における民間賃貸住宅の媒介等に関する協定書」に基づき、災害が起こった際に迅速に対応できるよう当協会独自のマニュアルを作成

【株式会社NTTドコモ中国支社】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 台風・大雨・大雪等の災害対応時に避難所開設情報や市町村の災害対策本部設置状況をＬアラートやリエゾン派遣により情報収集を行う。〔継続〕 ○ 防災機関との連携強化による情報収集を行う。(各種防災会議等への出席)〔継続〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 台風10号対応時に避難所開設情報や市町村の災害対策本部設置状況をＬアラートにより情報収集を実施。(8月) ○ 大雪に伴う各地の災害状況・被害状況について情報収集を実施。(1月、2月) ○ 各種防災会議への参加による情報収集の実施。(適宜) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県・各市町村のHPを確認し、広島県に大きな影響を与える地震(南海トラフ地震等)の被害想定見直し有無の確認を行う。見直しが行われた場合は、弊社の設備の被害想定の見直しを行い、合わせて従業員に周知を行う。 ○ 防災機関との連携強化による情報収集を行う。(各種防災会議等への出席し上記の情報を得る。)
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各自治体の防災訓練参加やドコモ防災ハンドブック配布施策により、緊急速報メール・災害用伝言板等の認知度向上を図る。〔継続〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各自治体の防災訓練、町内のイベントに参加し災対車両・機器の展示や、緊急速報メール・災害用伝言板等の説明を行い、災害対策取組の更なる普及に努めた(上期1件：海田町、下期1件：福山市) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各自治体の防災訓練参加やドコモ防災ハンドブック配布施策により、緊急速報メール・災害用伝言板等の認知度向上を図る。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 台風や大雪等の災害が予測される場合に迅速な対応ができるよう、社内各組織の災害対策リーダーに対する事前準備依頼と情報の展開を行う。〔継続〕 ○ ドコモの災害対策への取組を理解していただき、連携強化を図ることを目的とした社外(防災関係機関、報道等)説明会を実施する。〔継続〕 ○ 災害時における携帯電話の有効な活用方法の理解浸透を図るため、ドコモ防災ハンドブック配布施策を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 台風10号の際に、台風の進路予想等を社内各災害対策メンバーに共有し、災害への備えを実施。(8月) ○ 年末年始休暇中の災害に備え、休暇前に各組織の災害対策リーダーに対して初動対応の訓練を実施。(12月) ○ RCCラジオ様と「災害時情報提供に関する」協定を締結。(6月)。《新規》 ○ 広島県危機管理監様にもご登壇いただき、各自治体、防災関係機関、報道関係者向けに“ドコモ災害対策説明会”を実施。能登半島地震を踏まえた新たな取り組みや南海トラフ地震への備えをご説明。当日は70名の方にご参加いただき、3社に新聞等で取組を掲載いただいた。(10月) ○ 災害時における携帯電話の有効な活用方法の理解浸透を図るため、お客様向けにドコモ防災ハンドブック配布施策を実施した。また、より多くのお客様に本施策を知ってい 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害発生に備え自社内訓練(安否確認・情報伝達・災害対策機器の習熟)を定期的に行う。 ○ 台風・大雨・大雪等の災害対応時にSOBO-WEBやＬアラートを活用し、道路通行規制状況や、避難所開設情報等を能動的に入手し災害復旧活動に生かす。

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
行動する		ただくため、ドコモからメールや SNS アカウントを活用し告知を実施。(8月～9月)	
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 従業員を対象としたシェイクアウト訓練による「緊急速報メール」を受信した場合の行動確認と「社員安否確認」を実施する。〔継続〕 ○ 全従業員対象の災害対策に関する Web 研修を毎月実施する。〔継続〕 ○ 災害対策業務の勉強会を実施する。 ○ NTTGr 合同訓練を行う。(みしま海運) 〔継続〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県主催の「みんなで減災」一斉地震防災訓練や、動画を視聴し、命を守る安全行動について学んだ(11月) また、全社員を対象とした安否確認訓練を実施した。(4月、7月、12月) ○ 全社員を対象とし、社員一人一人の自助力の向上を目的とした web 研修を毎月実施。 ○ ウェザーニューズ様を講師として、中国地方の気象の特徴や今年度の台風傾向に関する気象勉強会を実施。(7月) ○ ドコモの各区域の拠点で、災害対策業務に関する勉強会を実施。(6月-8月5回) ○ 台風シーズンへの備えとして、社内で情報伝達訓練を実施。(7月) ○ 能登半島地震を踏まえ、災害対応力を強化のため、災害対策物品の新增配備、社内ルールの見直しを行った。実効性を確認するための訓練も実施。《新規》 ○ NTT 西日本中国支店、NTT アノードエナジー中国支店と合同で、陸路での車両運搬が困難となった場合を想定し、みしま海運のフェリーを利用した3社合同の車両運搬訓練を実施(12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各自治体の防災訓練に参加し、災害救助機関の取組を学ぶ。 ○ 全従業員対象の自助力向上に関するWEB研修を実施する(毎月)
備 える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 協定に基づき、有事の際にスムーズに連携できるように訓練を行う。 ○ 南海トラフ巨大地震注意報発令を受け、南海トラフ地震に備え、社内ルールや、外部機関との連携強化に向け再整理を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 協定に基づき、有事の際にスムーズに連携できるように連携協定先と訓練を実施。(2回 RCC ラジオ様、コミュニティFM様) ○ 各災害救助機関と8回訓練を実施 ○ 南海トラフ地震に備え、ドコモ四国支社と合同で訓練を実施。(2月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害発生時に連携する防災関係機関(陸上自衛隊、海上保安庁等)と定期的に訓練を実施する。

【KDDI株式会社中国四国総支社】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知 る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中国地区の防災情報を広く入手できるよう、社内イントラに「中国の防災に関するポータルサイト/中国地方整備局」をリンク付け [継続] ○ 中国地区のBCPマニュアルの更新・開示 [継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社内イントラ情報、BCPマニュアルの最新版に更新。 ○ 1月：BCPマニュアルについて、組織・人事情報の更新。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中国地区の防災情報を広く入手できるよう、社内イントラに「中国の防災に関するポータルサイト/中国地方整備局」をリンク付け [継続] ○ 中国地区のBCPマニュアルの更新・開示 [継続]
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全社規模で、毎月初日の安否確認メールにより、非常時における社員との連絡体制に漏れがないか確認を実施 [継続] ○ 気象庁、道路交通情報を社内イントラにリンク付け [継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全職員に対して web によるBCP確認テストを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全社規模で、毎月初日の安否確認メールにより、非常時における社員との連絡体制に漏れがないか確認を実施 [継続] ○ 気象庁、道路交通情報を社内イントラにリンク付け [継続]
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発災時、勤務者等の安否確認や通信サービス継続、被災地支援等を規定に基づき実施 [継続] ○ 地域主導で、社員状況を確認する安否確認訓練実施(上半期1回、下半期1回) [継続] ○ 自治体の総合防災訓練に参加 防災への取組説明、被災地での通信環境を整備するための機器の展示 [継続] ○ シルバー層向けのスマホ教室での災害対策サービス紹介を実施 [継続] ○ 九州四国総支社と、南海トラフを想定した連携訓練(半期に一度) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5月：安佐南区防災フェスに参加。 ○ 7月：中国地区幹部社員の緊急時参集訓練を実施。 ○ 7月：九州、四国総支社と合同で、広島にて南海トラフに備えた勉強会を実施。 ○ 3月：九州四国総支社との連携訓練を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発災時、勤務者等の安否確認や通信サービス継続、被災地支援等を規定に基づき実施 [継続] ○ 地域主導で、社員状況を確認する安否確認訓練実施(上半期1回、下半期1回) [継続] ○ 自治体の総合防災訓練に参加 防災への取組説明、被災地での通信環境を整備するための機器の展示 [継続] ○ シルバー層向けのスマホ教室での災害対策サービス紹介を実施 [継続] ○ 中国総支社において、緊急時参集訓練を開催予定 [継続] ○ 九州四国総支社と、南海トラフを想定した連携訓練(半期に一度)
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害用伝言板体験サービス」を毎月1日と15日開催 [継続] ○ リエゾン派遣の勉強会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ [継続] 案件について、実施中 ○ 8月：避難所支援メンバーへの勉強会を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害用伝言板体験サービス」を毎月1日と15日に開催 [継続] ○ 避難所支援備品の設置手順の確認 ○ 災害時通信サービスの社内勉強会
備 える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害担当には、全国の地震発生情報が自動的に発信され、発災後の行動に備えている。 [継 	<ul style="list-style-type: none"> ○ [継続] 案件について、実施中 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害担当には、全国の地震発生情報が自動的に発信され、発災後の行動に備えてい

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
備える	<p>続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各県の総合防災訓練に参加 [継続] ○ 陸上自衛隊、海上保安庁等の関係機関と連携し、実践を意識した訓練を継続して実施 [継続] ○ 引き続き、災害発生時の通信環境を維持するために設備の充実に努め、災害対策備蓄品の点検及び、入れ替えや被災地支援機器の点検、動作確認を実施 [継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 四半期に一度、携行蓄電池、衛星携帯電話への充電を実施。 	<p>る。[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各県の総合防災訓練に参加 [継続] ○ 陸上自衛隊、海上保安庁等の関係機関と連携し、実践を意識した訓練を継続して実施 [継続] ○ 引き続き、災害発生時の通信環境を維持するために設備の充実に努め、災害対策備蓄品の点検及び、入れ替えや被災地支援機器の点検、動作確認を実施 [継続]

【ソフトバンク株式会社】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害時初動マニュアル（自社作成）」の内容確認、および社員が保持する業務用携帯電話への保存、事前確認の推進（全社通達） ○ 各拠点の火災発生時フロー、急病人発生時フロー、避難経路図、備蓄品情報を集約掲載した、社内専用ポータルサイト（通称：全国防火・防災ポータルサイト）の運営 ○ 大規模災害、テロ、パンデミック等の有事に備えた情報共有ポータルサイトの開設 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害時初動マニュアル（自社作成）」の内容確認、および社員が保持する業務用携帯電話への保存、事前確認の推進（全社通達） [継続] ○ 各拠点の火災発生時フロー、急病人発生時フロー、避難経路図、備蓄品情報を集約掲載した、社内専用ポータルサイト（通称：全国防火・防災ポータルサイト）の運営 [継続] ○ 大規模災害、テロ、パンデミック等の有事に備えた情報共有ポータルサイトの開設 [継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害時初動マニュアル（自社作成）」の内容確認、および社員が保持する業務用携帯電話への保存、事前確認の推進（全社通達） ○ 各拠点の火災発生時フロー、急病人発生時フロー、避難経路図、備蓄品情報を集約掲載した、社内専用ポータルサイト（通称：全国防火・防災ポータルサイト）の運営 ○ 大規模災害、テロ、パンデミック等の有事に備えた情報共有ポータルサイトの開設
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 携帯電話販売店等に配置している「モバイル総合カタログ」の中に、災害用伝言板、緊急速報メールの説明を掲載し、携帯電話の新規購入者・更新者への登録を促進 ○ 自社ホームページに災害用伝言板、緊急速報メールの機能説明等の掲載・周知 ○ 社内専用ポータルサイト（全国防火・防災ポータルサイト）に防災関連アプリを紹介して、登録を促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 携帯電話販売店等に配置している「モバイル総合カタログ」の中に、災害用伝言板、緊急速報メールの説明を掲載し、携帯電話の新規購入者・更新者への登録を促進 [継続] ○ 自社ホームページに災害用伝言板、緊急速報メールの機能説明等の掲載・周知 [継続] ○ 社内専用ポータルサイト（全国防火・防災ポータルサイト）に防災関連アプリを紹介して、登録を促進 [継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 携帯電話販売店等に配置している「モバイル総合カタログ」の中に、災害用伝言板、緊急速報メールの説明を掲載し、携帯電話の新規購入者・更新者への登録を促進 ○ 自社ホームページに災害用伝言板、緊急速報メールの機能説明等の掲載・周知 ○ 社内専用ポータルサイト（全国防火・防災ポータルサイト）に防災関連アプリを紹介して、登録を促進

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害時初動マニュアル（自社作成）」の内容確認、および社員が保持する業務用携帯電話への保存、事前確認の推進（全社通達） ○ 社内専用ポータルサイト（全国防火・防災ポータルサイト）に防災関連アプリを紹介して、登録を促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害時初動マニュアル（自社作成）」の内容確認、および社員が保持する業務用携帯電話への保存、事前確認の推進（全社通達）〔継続〕 ○ 社内専用ポータルサイト（全国防火・防災ポータルサイト）に防災関連アプリを紹介して、登録を促進〔継続〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害時初動マニュアル（自社作成）」の内容確認、および社員が保持する業務用携帯電話への保存、事前確認の推進（全社通達） ○ 社内専用ポータルサイト（全国防火・防災ポータルサイト）に防災関連アプリを紹介して、登録を促進
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「安否確認訓練」を実施し、安否登録方法を全社員が体験 ○ 自社で作成した「災害時初動マニュアル」の内容について、全社員に対しeラーニングの受講を促進（全社通達） ○ 自社で作成した「ご家庭での備え・チェックシート」や「自宅用備蓄品購買サイト」を周知し、全社員に自宅防災対策を促進 ○ ホームページ等において、災害用伝言板サービスなどの連絡手段を周知 ○ 全国の自治体主催防災訓練において、緊急速報メールの配信、災害用伝言板サービスの利用方法を周知 ○ ホームページ等において、緊急速報メールが、どのような時（地震、避難勧告等）に発信され、発信される情報内容（どのような行動をとればよいのかなど）や、どのように届くか（情報の種類による着信音の違い等）などを周知 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「安否確認訓練」を実施し、安否登録方法を全社員が体験〔継続〕 ○ 自社で作成した「災害時初動マニュアル」の内容について、全社員に対しeラーニングの受講を促進（全社通達）〔継続〕 ○ 自社で作成した「ご家庭での備え・チェックシート」や「自宅用備蓄品購買サイト」を周知し、全社員に自宅防災対策を促進〔継続〕 ○ 従業員を対象とした当社のBCP（事業継続計画）と災害への備え・取り組みを理解し、災害に対する意識を高めるための「BCP・防災浸透週間」を開催 ○ ホームページ等において、災害用伝言板サービスなどの連絡手段を周知〔継続〕 ○ 全国の自治体主催防災訓練において、緊急速報メールの配信、災害用伝言板サービスの利用方法を周知〔継続〕 ○ ホームページ等において、緊急速報メールが、どのような時（地震、避難勧告等）に発信され、発信される情報内容（どのような行動をとればよいのかなど）や、どのように届くか（情報の種類による着信音の違い等）などを周知〔継続〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「安否確認訓練」を実施し、安否登録方法を全社員が体験 ○ 自社で作成した「災害時初動マニュアル」の内容について、全社員に対しeラーニングの受講を促進（全社通達） ○ 自社で作成した「ご家庭での備え・チェックシート」や「自宅用備蓄品購買サイト」を周知し、全社員に自宅防災対策を促進 ○ ホームページ等において、災害用伝言板サービスなどの連絡手段を周知 ○ 全国の自治体主催防災訓練において、緊急速報メールの配信、災害用伝言板サービスの利用方法を周知 ○ ホームページ等において、緊急速報メールが、どのような時（地震、避難勧告等）に発信され、発信される情報内容（どのような行動をとればよいのかなど）や、どのように届くか（情報の種類による着信音の違い等）などを周知

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設内の設備の転倒防止対策や避難経路の確保 ○ 各事業者の防火・防災体制の把握 ○ 各事業所内に防災備蓄品を配備 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設内の設備の転倒防止対策や避難経路の確保 [継続] ○ 各事業者の防火・防災体制の把握 [継続] ○ 各事業所内に防災備蓄品を配備 [継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設内の設備の転倒防止対策や避難経路の確保 ○ 各事業者の防火・防災体制の把握 ○ 各事業所内に防災備蓄品を配備

【広島県バス協会】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ バスの車内に防災に関する啓発ポスター等を掲示する。 ○ 会員対し、バス路線沿線の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認するよう促す。 ○ 「大規模災害基本対応マニュアル（日本バス協会作成）」を会員に対し周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ バス路線沿線の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認するよう会員に促した。 ○ 会員対し、バス路線沿線の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認するよう促した。 ○ 「大規模災害基本対応マニュアル（日本バス協会作成）」を会員に対し周知した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ バスの車内に防災に関する啓発ポスター等を掲示する。 ○ 貸切バスでよく行く目的地の災害危険箇所や避難場所を把握しておくよう、会員に促す。 ○ バス路線沿線の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認するよう促す。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、防災情報メール、広島県防災 Web など情報収集し、バス路線沿線の危険性を察知できるよう会員に対して、防災情報メールの登録を呼びかける。 ○ 必要な時に必要な情報が早期に収集できるように、災害情報の入手先（ホームページ、電話番号等）を会員用ポータルサイトに掲載・更新する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災情報メール、広島県防災 Web など情報収集し、バス路線沿線の危険性を察知できるよう会員に対して、防災情報メールの登録を呼びかけた。 ○ 必要な時に必要な情報が早期に収集できるように、災害情報の入手先（ホームページ、電話番号等）を会員用ポータルサイトに掲載・更新した。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、 ○ 防災情報メール、広島県防災 Web など情報収集し、バス路線沿線の危険性を察知できるよう会員に対して、防災情報メールの登録を呼びかける。 ○ 必要な時に必要な情報が早期に収集できるように、災害情報の入手先（ホームページ、電話番号等）を会員用ポータルサイトに掲載・更新する。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県が開催する一斉地震防災訓練へ参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県が開催する一斉地震防災訓練へ参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県が開催する一斉地震防災訓練へ参加する。 ○ 他の機関が実施する防災訓練やセミナーに参加する。
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他機関に依頼し、防災教室を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島气象台に依頼し、「南海トラフについて」会員向けにセミナーを開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他機関に依頼し、防災教室を実施する。
備える	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、 ○ 会員に対し「広島県『みんなで減災』一斉地震防災訓練」など事務局が実施するイベント・講座などへの参加を促す。 ○ 会員に対し、ひろしまマ 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、会員に対し ○ 「広島県『みんなで減災』一斉地震防災訓練」など事務局が実施するイベント・講座などへの参加を促した。 ○ ひろしまマイ・タイムライ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災ハンドブックを作成する。 引き続き、会員に対し ○ 「広島県『みんなで減災』一斉地震防災訓練」など事務局が実施するイベント・講座

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
備える	<ul style="list-style-type: none"> イ・タイムラインの作成を促す。 ○ 会員に対し、BCPの策定・更新を促す。 ○ 防災マニュアルの策定・更新を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ンの作成を促した。 ○ BCPの策定・更新を促した。 ○ 防災マニュアルの策定・更新を促した。 	<ul style="list-style-type: none"> などへの参加を促す。 ○ ひろしまマイ・タイムラインの作成を促す。 ○ BCPの策定・更新を促す。 ○ 防災マニュアルの策定・更新を促す。

【広島県医師会】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 減災に係るポスター等の掲示について、広島県や市郡地区医師会と連携し、掲示が促進されるよう方策の検討や取組の実施〔継続〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ポスターを館内に掲示している。 ○ ポスターを市郡地区医師会へ送付し、掲示などによる周知を促進している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 減災に係るポスター等の掲示について、広島県や市郡地区医師会と連携し、掲示が促進されるよう方策の検討や取組の実施
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「広島県医師会速報」による、会員へ向けた防災意識・手順・サービス等の定期的な啓発〔継続〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「防災タイムライン」に関する記事など、防災に関する記事（すきま記事）を会員向け広報誌「広島県医師会速報」に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「広島県医師会速報」による、会員へ向けた防災意識・手順・サービス等の定期的な啓発
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種研修会や訓練などの実施を通じて、関係機関との連携を強化し、さまざまな医療面での対応方策を共有。 ○ 広島県と協力し、令和6年度第2回県内医療機関一斉『EMIS緊急時入力訓練』（令和6年11月1日（金）～11月10日（日））を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関係機関と災対発生時の対応と連携について検討を重ねている。 ○ 広島県と協力し、県内医療機関一斉「EMIS（広域災害救急医療情報システム）緊急時入力訓練」（6/21～6/30、11/1～11/10）を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種研修会や訓練などの実施を通じて、関係機関との連携を強化し、さまざまな医療面での対応方策を共有
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和6年度都道府県災害医療コーディネーター研修（オンデマンド配信・受講期間：令和6年9月27日～10月27日、集合研修：令和6年10月27日（日））が実施される。本会は、受講者（地域医療に関わる医師）の推薦をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和6年度都道府県災害医療コーディネーター研修が、令和6年10月27日（日）に開催され、本会が推薦した医師1名が受講した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時に連携が必須となる県内の市区郡地区医師会や日本医師会、そのほか関係機関の災害対応から、自機関が備えるべきことを検討
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島 JMAT への事前登録の募集を行う。 ○ 太田川水防災タイムライン・小瀬川水防災タイムラインのハザード別の各ステージに 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害発生後、より速やかに医療支援が行える体制構築のため、「広島 JMAT」の事前登録制を導入した（登録数：16 団体（令和6年12月31日時点）※JMAT（日本医師会災害医療チーム） ○ 太田川水防災タイムライン検討会に参画 ○ 小瀬川水防災タイムライン 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体制整備。「広島 JMAT」の事前登録を継続し、また研修を企画・実施 ○ 災害時における会員医療機関の被災状況を把握するための体制整備と運用 ○ 太田川水防災タイムライン・小瀬川水防災タイムラインのハザード別の各ステージ

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
備える	おける災害対応を迅速に進めるための情報共有。	検討会に参画	における災害対応を迅速に進めるための情報共有

【広島県歯科医師会】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「会員のための災害時ハンドブック」を利活用し、災害時への準備や対応について啓発を図る。 ○ 本会の会報誌に「防災・減災のちから-備えあれば憂いなし-」を連載し、会員に情報提供を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内郡市区歯科医師会が開催する研修会において、「ハンドブック」を活用して啓発を図るとともに、能登半島地震での災害派遣チーム(JDAT)の取り組みについて報告を行った。 ○ 本歯科医師会の会報誌に、「防災・減災のちから-備えあれば憂いなし-」と題した記事を毎月掲載し、会員に情報提供を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「会員のための災害時ハンドブック」や「広島県防災Web」等を利活用して、研修や会議等の際に、災害時への準備や対応について啓発を図る。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会員安否確認システムのスマホアプリの開発を完了し、稼働に向けて準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会員安否確認システムについて、来年度の導入に向けて最終調整中である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会員安否確認システムのスマホアプリ導入に向けて、積極的に周知を図る。 ○ 本歯科医師会の会報誌に、「国における災害対応」と題した文章を毎月掲載し、会員に情報提供を行っていく。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年度に構築した郡市区歯科医師会との連絡網について、定期的な見直しと独自の災害対応訓練などにより実効性を高めていく。 ○ 日本歯科医師会「災害歯科保健医療体制研修会」の内容について、発災時に具体的に利活用していけるよう、会員向けの研修会を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 能登半島地震での災害派遣チーム(JDAT)の経験を郡市区歯科医師会での研修会にて報告し、今後の対応に活かしていく。 ○ 「JDAT 標準研修会(旧 災害歯科保健医療体制研修会)」を開催し、今後起こりうる大規模災害に備えて、日本災害歯科支援チーム(JDAT)として歯科衛生士会や歯科技工士会を含めたチームを編成し活動できるように取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本県において「JDAT 標準研修会」を開催し、今後起こりうる大規模災害に備えて、歯科衛生士会や歯科技工士会を含めた日本災害歯科支援チーム(JDAT)の編成が取れるよう、継続して開催する。 ○ 本歯科医師会の会報誌に、「防災・減災のちから-備えあれば憂いなし-」と題した記事を毎月掲載し、会員に情報提供を行う。
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本歯科医師会が主催する「災害歯科保健医療体制研修会」には今年度も参加する。その研修内容について、歯科医師をはじめ、歯科衛生士や歯科技工士を含めフィードバックす 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「JDAT 標準研修会(旧 災害歯科保健医療体制研修会)」を開催し、今後起こりうる大規模災害に備えて、日本災害歯科支援チーム(JDAT)として歯科衛生士会や歯科技工士会を 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本歯科医師会が主催する「災害歯科保健医療体制研修会」に参加し、研修会で知り得た情報について、会員をはじめ、関係団体にフィードバックし共有する。

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
学 ぶ	る。 ○ 広島県や広島市、広大歯学部等との連携組織である広島県歯科衛生連絡会での「災害歯科保健医療体制・整備検討会議」を年明け2月頃に開催する予定	含めたチーム編成が活動できるよう取り組んだ。（「行動する」と同様） ○ 「災害歯科保健医療体制・整備検討会議」を3月28日に開催し、JDAT 標準研修会や災害派遣に関する協定について協議する予定としている。	○ 広島県や広島市、広大歯学部等との連携組織である広島県歯科衛生連絡会での「災害歯科保健医療体制・整備検討会議」を今年度から開催回数を増やし、更なる連携強化を継続していく。
備 える	○ 「備蓄」の消費期限等考慮し継続的に見直しをしていく。 ○ 安否確認システムのスマホアプリの稼働 ※「察知する」の取組内容 ○ 本会の「事業継続計画(BCP)」について、新しい知見を含めながら、随時更新していく。 ○ 協定を交わした中国・四国地区8県の歯科医師会とは、中国四国地区歯科医師会災害歯科保健担当者とグループメールを作成したので情報共有を行う。	○ 他県歯科医師会の備蓄状況(備蓄品、備蓄数等)を参考に、必要数量を検討した。 ○ 会員安否確認システムについて、来年度の導入に向けて最終調整中である。 ○ 本会の事業継続計画(BCP)について、新しい知見を含めながら、随時更新していく。 ○ 昨年10月に中国四国地区歯科医師会役員連絡協議会が開催され、「令和6年能登半島地震」での災害歯科支援チームの活動報告を含めた支援体制整備について協議を行った。	○ 「備蓄」の消費期限等考慮し継続的に見直しをしていく。 ○ 安否確認システムの導入 ※「察知する」の取組内容 ○ 本歯科医師会全体計画として策定した「事業継続計画(BCP)」について、「令和6年能登半島地震」に災害歯科支援チームを派遣した知見を整理し、見直しを行っていく。 ○ 協定を交わした中国・四国地区8県の歯科医師会とは、中国四国地区歯科医師会災害歯科保健担当者とグループメールを作成したので情報共有を行い、連携強化を図る。 ○ 広島大学歯学部、広島大学病院、広島県歯科衛生士会、広島県歯科技工士会との災害派遣に関する協定の締結について協議する。

【日本放送協会広島放送局】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知 る ・ 察知する	○ 金曜日午後7時30分から放送しているローカル番組の「コネクト」、平日の午後6時10分から放送しているニュース番組「お好みワイドひろしま」などで、防災意識を高めてもらおう企画を継続して発信する。視聴者に防災・減災の意識を高めてもらおうとともに、みずからも最新の対策などの取材を継続的に行うこと	○ 西日本豪雨6年や広島土砂災害10年の時期を中心に、ローカル番組の「コネクト」、ニュース番組の「お好みワイドひろしま」で、防災・減災に関わる特集や企画を放送。 ○ 8月に南海トラフに関する情報が出されたことを受けて、能登半島地震をきっかけに制作した防災に関する番組を再放送。 ○ NHK広島局の基幹番組で	○ NHK広島放送局の基幹番組であり、平日の18時10分から放送している「お好みワイドひろしま」などで、防災や減災に関わる特集やニュースを断続的に発信する。

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
<p>知る 察知する</p>	<p>で、動向を吸収する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 台風や大雨、大雪、地震などの際は、通常のニュースに加えて、特設ニュースやL字放送を実施し、地域に密着した情報を伝え、対策を呼びかける。 ○ 気象台が発表する各種情報、気象台と中国地方整備局の記者会見などを通じて、警戒すべき時期や事象を把握。発災前であっても状況に応じてL字放送を行い、非日常感を画面で表現することで警戒を呼びかける。 ○ L字放送などを通じて、雨雲の状況や土砂災害の危険度などが分かるスマホ向けの「NHKニュース防災アプリ」の普及に努める。 ○ 特設ニュースやL字放送のほか、公式HPやSNSなども活用して防災・減災に関わる情報を発信し、公共メディアとして可能な範囲で、視聴者の生命と財産を守る報道に最大限努める。 	<p>ある「お好みワイドひろしま」で減災・防災に関する特集ニュースを断続的に発信した。2024年10月9日には、2014年の土砂災害で被害が出た安佐北区の小学校で、子どもたちが災害を体感することをテーマとした授業の企画、2025年1月12日には小さな子どもがいる家庭に必要な備えに関する企画を放送。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 台風10号では、中国地方への接近前からL字放送を実施し、最も接近したタイミングでは特設ニュースも放送して、異例の進み方をしていた台風への警戒を呼びかけた。 ○ 中国地方における2024年11月の大雨、2025年1月の大雪、2025年2月の大雪では、それぞれ、中国地方の管内各局が柔軟な編成を組むとともにL字放送を実施して、地域に密着した防災・減災に関わる情報、生活への影響などの情報を発信した。 ○ 台風10号などでL字放送を実施する際には、ニュース防災アプリのPRもあわせて行い、普及に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 台風や大雨、大雪、地震など際は、積極的に、通常のニュースに加えて特設ニュースやL字放送を実施し、地域に密着した情報を伝える。 ○ 新年度改訂にあわせて、新たに毎週火曜日、防災士の資格も持つ気象予報士が災害への備えに関する情報を発信するコーナー「防災これだけは」を設ける。

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
行動する ・ 学 ぶ ・ 備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内の中小企業などを対象に、防災・減災に関する研修会の実施を検討する。 ○ 年間、10回以上をメドに程度、地震など災害時を想定した緊急送出手訓練を実施する。 ○ 南海トラフ巨大地震など津波警報が発令される事態を想定して、在広島の民放各社と沿岸部の空撮で連携する仕組みの確立を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島商工会議所を通じて、希望する企業や経営者を対象に、防災・減災の取り組みに関する講演会を実施した。 ○ 1月25日に広島市中区が開催した「地域防災・福祉フォーラム」で、広島局の災害担当デスクが「南海トラフ巨大地震が起きた際、広島はどうか」をテーマに講演。気象予報士が、「災害から自分の命をどう守るか」をテーマに講演を実施。 ○ 災害時を想定した緊急送出手訓練を実施し、現場からの中継リポートの習熟にも力を入れた。 ○ 南海トラフ巨大地震を想定した中国ブロックの放送訓練を初めて実施した。避難の呼びかけにおいては、エリアごとに避難先として適切な地名や施設名を紹介して、避難を促す準備に力を入れている。 ○ 中四国に大津波または津波警報が発令された場合を想定して、在広島の民放各社と、沿岸部の空撮や映像の相互利用に関する協定を3月に締結した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 視聴者や県内の企業などを対象に、減災や防災に関する講演会や研修会の実施を検討する。 ○ 広島の民放各社と中四国に大津波または津波警報が発令された場合に、沿岸部の空撮や映像の相互交換で連携する協定を締結したことを受けて今年度中に共同訓練を実施する方向。放送局の枠をこえて、国民の生命を守ることに資する情報発信に万全を期したい。

【株式会社中国放送】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知 る ・ 察知する ・ 行動する ・ 学 ぶ ・ 備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 報道機関として、行政の災害対応、防災施策に問題はないかも含めて、しっかりと取材・報道する ○ 災害報道、防災情報に力を入れ、スタッフ研修、番組制作などに継続して取り組む ○ 「みんなで減災」県民総ぐるみ運動に賛同し、あらゆる機会をとらえて、防災に関する発信を行う。 ○ 県などが主催する防災訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 西日本豪雨や広島土砂災害などに関連した継続的な防災報道に加え、大雨時などに地上波特別枠を設けたり、Web配信したりして情報発信した。 ・ 4~7月、気象・災害情報について理解を深める活動（放送・Web）。▽新たな線状降水帯30分前予測について解説などについて企画ニュースを通じ解説 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 報道機関として、行政の災害対応、防災施策に問題はないかも含めて、しっかりと取材・報道する ○ 災害報道、防災情報に力を入れ、スタッフ研修、番組制作などに継続して取り組む ○ 「みんなで減災」県民総ぐるみ運動に賛同し、あらゆる機会をとらえて、防災に関する発信を行う。 ○ 県などが主催する防災訓

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
<p>知 る</p> <p>・</p> <p>察知する</p> <p>・</p> <p>行動する</p> <p>・</p> <p>学 ぶ</p> <p>・</p> <p>備 える</p>	<p>を積極的に取材し、県民へ向けて発信する。</p> <p>○ きめ細かい独自の天気予報を伝えるとともに、平常時・災害時とも情報発信は、ラジオ・テレビ・インターネットホームページなど様々なメディアによって行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月、6月—梅雨入りと共に大雨関連の情報を厚く伝える。早めに雨に関する情報を伝える。キキクルの見方を何度も解説。 — 気象予報士がつくば市の防災科学技術研究所にある大型降雨体験施設で猛烈な雨を体験。事前避難の大切さを訴える。 — 西日本豪雨被災地そばの小学校でARをつかった防災授業を放送 ・ 8・20 広島土砂災害と線状降水帯について企画。完成した伝承館について伝える ○ キキクルを見ることが出来るほか、リアルタイムに震度速報が入る「強震モニタ」など防災アプリとして活用できるニュースアプリ「TBS NEWS DIG Powered by JNN」を連日放送で伝える。 ○ ウェザーセンターによる気象情報全般の発信力強化。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的に気象への関心を高める取り組み（放送・Web）。 ・ 中国地方整備局河川カメラ網の活用。増水時以外も映像に触れる機会を増やす取り組み。 ○ Yahoo! 防災マップとのパートナーシップ連携。放送等での活用。 ○ ラジオとも連携、視聴者・聴取者から寄せられる情報も共有した。 ○ JNN 系列を挙げての災害対応策にかかる継続的協議・訓練。 ○ 自社での地震報道訓練等の実施。 ○ 関係機関と連携した防災催し・勉強会。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 気象予報士を中心に積極的に参加。 	<p>練を積極的に取材し、県民へ向けて発信する。</p> <p>○ きめ細かい独自の天気予報を伝えるとともに、平常時・災害時とも情報発信は、ラジオ・テレビ・インターネットホームページなど様々なメディアによって行う。</p>

【株式会社テレビ新広島】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 気象情報などの発表内容が変わるタイミングや出水期の時期などに合わせ、防災に関する様々な企画ニュースを放送。県民に分かりやすく最新の防災情報を伝える。 ○ 「満点ママ」の月1防災企画を今季も継続して実施。タイムリーな気象課題に合わせ、分かりやすく解説。 ○ 特に南海トラフ地震の「臨時情報」については折に触れ、複雑なシステムを分かりやすく伝え注意喚起、啓発する。 ○ 広島県内各市町と「災害情報発信協定」を締結し、平時よりニュースや番組等を通じて、災害への備えを伝えるとともに「避難の重要性」を訴える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 線状降水帯の情報発表の更新など、節目に合わせて放送内で解説ニュースなどを伝えた。 ○ 広島県の防災の取組に関する様々な情報などを、日頃のニュースや「満点ママ」の月1防災企画などで提供する。 ○ 2度目となる南海トラフ巨大地震「調査中」の発表では、カットイン放送で速報特番を放送し状況をリアルタイムで伝えた（全中） ○ 能登半島地震や阪神大震災、東日本大震災などの周年を機に震災の防災企画ニュースを番組内で特集した。 ○ 上半期に新しく1自治体と締結した。引き続き県内各市町と「災害情報発信協定」の締結を進め、ニュース等を通じて災害への備えを訴え「避難の重要性」を知ってもらう。 [継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 気象情報などの発表内容が変わるタイミングや出水期の時期などに合わせ、防災に関する様々な企画ニュースを放送。県民に分かりやすく最新の防災情報を伝える。 ○ 「満点ママ」の月1防災企画を今季も継続して実施。タイムリーな気象課題に合わせ、分かりやすく解説 ○ 特に南海トラフ地震の「臨時情報」については折に触れ、複雑なシステムを分かりやすく伝え注意喚起、啓発する。 ○ 線状降水帯の情報発表時には、速報が出せるよう準備する。 ○ 広島県内各市町と「災害情報発信協定」を締結し、平時よりニュースや番組等を通じて、災害への備えを伝えるとともに「避難の重要性」を訴える。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難のタイミングを考えるうえで、広島県防災 Web やヤフー防災タイムラインを活用し、キキクルの情報など詳しく伝えることで避難行動を呼びかける。 ○ 災害時には本放送だけでなく、データ放送やホームページ等を活用しきめ細やかな情報を迅速に提供 ○ 正確な情報を早くわかりやすく、テレビ・ホームページを通じて繰り返し伝達する。 ○ 広島県及び県内各市町と「災害に係る情報発信等に関する協定」締結を進める。（広島県及び17市町と締結済み。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難情報発表時などには迅速に速報発信し、またL字放送などで繰り返し伝えることで、広く認知してもらえるよう努めた。 ○ 正確な情報を早くわかりやすく、テレビ、ホームページ、インターネットを通じ、繰り返し伝達 [継続] ○ 広島県及び県内各市町と「災害に係る情報発信等に関する協定」締結を進める。[継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難のタイミングを考えるうえで、広島県防災 Web やヤフー防災タイムラインの活用し、キキクルの情報など詳しく伝えることで避難行動を呼びかける。 ○ 災害時には本放送だけでなく、データ放送やホームページ等を活用しきめ細やかな情報を迅速に提供 ○ 正確な情報を早くわかりやすく、テレビ・ホームページを通じて繰り返し伝達する。 ○ 広島県及び県内各市町と「災害に係る情報発信等に関する協定」締結を進める。（残る1町）

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
察知する	<p>3市町とは協定書取り交わし済み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 警戒レベル3「高齢者等避難」以上の発令時に速報スリーパー対応するなど、県民の早期避難に繋がる取組を行う。[継続] ○ 災害情報等をテレビの字幕放送（L字放送等）で周知[継続] 交通情報など県民が必要とする情報もあわせて伝える。 	<p>(広島県及び22市町まで締結済み。残る1町との協定書取り交わしを目指す)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 注意報・警報などの情報をテレビの字幕で周知[継続] ○ 警報発表時には速報対応した。 ○ 避難情報発表時などには迅速に速報発信し、またL字放送などで繰り返し伝えることで、広く認知してもらえよう努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 警戒レベル3「高齢者等避難」以上の発令時に速報スリーパー対応するなど、県民の早期避難に繋がる取組を行う。[継続] ○ 注意報・警報などの情報をテレビの字幕で周知[継続] ○ 災害情報等をテレビの字幕放送（L字放送等）で周知[継続] 交通情報など県民が必要とする情報もあわせて伝える。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 番組内での機会を通じて、マイ・タイムラインの製作や避難経路の確認、避難グッズの準備など、継続して、防災・減災を意識した啓蒙活動を行う。 ○ 南海トラフ地震など震災における防災情報も分かりやすく伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災・減災を意識しニュースを中心に番組内での情報露出の強化 ○ 災害に備え具体的にどう行動するのかを意識してもらうための啓発 ○ 南海トラフ臨時情報発表時には、L字放送で臨時情報について発信。その後1週間にわたり番組内で臨時情報を知らせる情報を発信した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 番組内での機会を通じて、マイ・タイムラインの製作や避難経路の確認、避難グッズの準備など、継続して、防災・減災を意識した啓蒙活動を行う。 ○ 南海トラフ地震など震災における防災情報を分かりやすく伝える。
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 報道を通じて、県民に防災・減災について考えてもらう素材・機会を提供 ○ 自局のホームページで、防災・減災の知識や情報を提供 ○ 減災につながる最新の防災情報などについては機会をとらえ、ニュースなどの企画・特集などを通じて分かり易く県民へ周知・啓発を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 通常のニュースに加え、特集などで災害の原因に迫るとともに土砂災害警戒区域の指定や被災者支援などを検証 ○ 線状降水帯の情報発表の更新など、節目に合わせて放送内で解説ニュースなどを伝えた。 ○ 報道を通じて、県民に防災・減災について考えてもらう素材・機会を提供 ○ 警報発表時にはホームページに自動で情報発信するシステムを構築した。 ○ 減災につながる最新の防災情報などについては、機会をとらえ、ニュースなどの企画・特集などを通じて分かり易く県民へ周知・啓発を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 報道を通じて、県民に防災・減災について考えてもらう素材・機会を提供 ○ 自局のホームページで、防災・減災の知識や情報を提供 ○ 減災につながる最新の防災情報などについては機会をとらえ、ニュースなどの企画・特集などを通じて分かり易く県民へ周知・啓発を図る。

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 南海トラフ地震を想定した自社の防災訓練を実施。津波被害などに即した情報発信のあり方を確認し、どのような内容で放送、ネット配信などが出来るか訓練をする。 ○ 自局のホームページで、防災・減災に関する情報を提供 ○ 防災情報や県市町等から発せられる警戒レベルや避難所情報を的確に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 南海トラフ臨時情報発表時には、L字放送で臨時情報について発信。その後1週間にわたり番組内で臨時情報を知らせる情報を発信した。 ○ 警報発表時にはホームページに自動で情報発信するシステムを構築した。 ○ 自局のホームページで、防災・減災に関する情報を提供 ○ 警報発表時には速報対応し、L字放送で対応した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 南海トラフ地震を想定した自社の防災訓練を実施。津波被害などに即した情報発信のあり方を確認し、どのような内容で放送、ネット配信などが出来るか訓練する。 ○ 自局のホームページで、防災・減災に関する情報を提供 ○ 防災情報や県市町等から発せられる警戒レベルや避難所情報を的確に伝える。

【広島テレビ放送株式会社】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 折に触れ、災害関連の勉強会や関係者との会合に参加し、情報収集や意見交換などを実施。〔継続〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 折に触れ、災害関連の勉強会や関係者との会合に参加し、情報収集や意見交換などを実施。〔継続〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュースにおいて、土砂災害の特集を放送 ○ 大雨・台風シーズン及び大雪・寒波について番組内の天気コーナーやニュース内で注意喚起 ○ 「みんなで防災プロジェクト」コーナーを週に一度放送し、県民の防災意識を高める。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨や大雪などで警報および避難情報が出た場合、ニュースやL字放送で情報発信〔継続〕 ○ ホームページやデータ放送にニュースで放送した警報情報を掲載〔継続〕 ○ 広テレアプリでスマホへのプッシュ通知による避難情報などの提供〔継続〕 ○ 広テレアプリで県内に警報、注意報が出た際のお役立ち情報の発信〔継続〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨や大雪などで警報および避難情報が出た場合、ニュースやL字放送で情報発信〔継続〕 ○ ホームページやデータ放送にニュースで放送した警報情報を掲載〔継続〕 ○ 広テレアプリでスマホへのプッシュ通知による避難情報などの提供〔継続〕 ○ 広テレアプリで県内に警報、注意報が出た際のお役立ち情報の発信〔継続〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨や大雪などで警報および避難情報が出た場合、ニュースやL字放送で情報発信 ○ ホームページやデータ放送にニュースで放送した警報情報を掲載 ○ 広テレアプリでスマホへのプッシュ通知による避難情報などの提供
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュースや速報、L字を使って気象情報や避難情報を放送し、早めの行動を呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュースや速報、L字を使って気象情報や避難情報を放送し、早めの行動を呼びかけ〔継続〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュースや速報、L字を使って、気象情報や避難情報を放送し、早めの行動を呼びかけ

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「みんなで防災プロジェクト」コーナーを週に一度放送し、県民の防災意識を高める。 ○ ニュースにおいて、土砂災害の特集を放送 ○ 梅雨・台風シーズン及び大雪・寒波について番組内の天気コーナーやニュース内で注意喚起 ○ 広テレアプリやホームページを通じて災害時に必要な情報を発信 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「みんなで防災プロジェクト」コーナーを週に一度放送し、県民の防災意識を高める。[継続] ○ ニュースにおいて、土砂災害の特集を放送。[継続] ○ 梅雨・台風シーズン及び大雪・寒波について番組内の天気コーナーやニュース内で注意喚起 [継続] ○ 広テレアプリやホームページを通じて災害時に必要な情報を発信 [継続] ○ 年に一度、「みんなで防災フェス」を開催し、来場者に防災知識を深めてもらうとともに、さまざまな防災体験をしてもらう。[継続] ○ 年に一度親子を対象として「森から防災教室 in 尾長」を開催し、気象予報士が参加者に森と防災のつながりについて解説する。[継続] ○ 防災協定を締結している自治体からの講演依頼への気象予報士の派遣 [継続] ○ 令和6年度の取り組みのまとめ番組を制作し、放送 [継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別番組を制作し、県民に災害の危険性や防災対策の重要性を知らせる。 ○ 防災に関するイベントを開催し、参加者に防災の大切さを体験してもらう。 ○ アプリなどSNSを活用し、利用者に災害の状況や対策を周知する。
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 23市町と締結している防災協定に基づき、年に一度、市町の防災担当者を集め、必要な情報や意見を交わすシンポジウムを開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 23市町と締結している防災協定に基づき、年に一度、市町の防災担当者を集め、必要な情報や意見を交わすシンポジウムを開催 [継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 折に触れ、災害関連の勉強会や関係者との会合に参加し、情報収集や意見交換などを実施
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期的に地震訓練を実施し、いざという時の放送に備える。[継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期的に地震訓練を実施し、いざという時の放送に備える。[継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期的に地震訓練を実施し、いざという時の放送に備える。

【株式会社広島ホームテレビ】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュース番組で広島県防災WEBの活用（土砂災害危険度情報のチェックの仕方など）を啓発〔継続〕 ○ ニュース番組で、「防災」（豪雨災害、南海トラフ地震への備えなど）をテーマにした放送、必要時は自社インターネット配信と合わせて警戒を呼び掛けることができる態勢づくりを進める〔継続〕 ○ 大雨警戒時にL字放送を実施し、注意や避難を呼びかける。〔継続〕 ○ テレビのデータ放送（dボタン）を使い自治体の情報を見ることができる新しいサービスの運用。現在3自治体〔継続〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 8月8日に起きた「南海トラフ地震臨時情報、巨大地震注意」が発表され、大地震に備えるためのグッズや避難などの特集を、番組で放送した。 ○ 行政や企業などの防災協定について取材し、放送した。 ○ 1月の日向灘地震を受け夕方ニュース情報番組で、「南海トラフ地震臨時情報」について詳しく解説した。 ○ データ放送で気象状況を伝えた。 ○ 三次市・坂町に加え新たに大崎上島町でdボタンを使った掲示板を開設。防災情報を市民に伝えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュース番組で広島県防災WEBの活用（土砂災害危険度情報のチェックの仕方など）を啓発〔継続〕 ○ ニュース番組で、「防災」（豪雨災害、南海トラフ地震への備えなど）をテーマにした放送、必要時は自社インターネット配信と合わせて警戒を呼び掛けることができる態勢づくりを進める〔継続〕 ○ 大雨警戒時にL字放送を実施し、注意や避難を呼びかける。〔継続〕 ○ テレビのデータ放送（dボタン）を使い自治体の情報を見ることができる新しいサービスの運用。現在3自治体〔継続〕
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自社ホームページのトップページに、広島県防災WEBへのリンクバナーを掲載〔継続〕 ○ 自社ホームページに「広島防災」ページ開設（「広島防災」HPについては、引き続き防災情報を追加し充実を図る。）〔継続〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自社HP上に「広島防災」といったページを公開し、過去に放送した防災VTRやその時々気象情報を伝えている。広島県防災WEBのリンクも貼り、より詳しい県内気象情報の発信に努めた。 ○ データ放送で気象情報を常に伝えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自社ホームページのトップページに、広島県防災WEBへのリンクバナーを掲載〔継続〕 ○ 自社ホームページに「広島防災」ページ開設（「広島防災」HPについては、引き続き防災情報を追加し充実を図る。）〔継続〕
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨洪水警報や避難勧告などが出た場合、自社ホームページやSNS（ツイッター、フェイスブック）の自社アカウントから情報を発信〔継続〕 ○ 警報級の災害発令の場合、速やかに特別番組を編成する。〔継続〕 ○ 警報など随時ニュース速報で対応〔継続〕 ○ 地上波放送及びネット配信で特別番組を編成し、現状や予報を発信する。 ○ 自社ホームページのトップページに広島県防災WEBへのリンクバナーを掲載〔継続〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自社気象予報士や契約した気象会社と情報交換しながら、特別番組を放送。災害現場の状況や、気象予報士による解説を随時放送した。 ○ L字情報をホームページとリンクさせ、情報を多チャンネルで発信していった。 ○ 南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」発表後の1週間、高知にクルーを派遣し、高知県の備えや影響などについて取材、全国放送した。 ○ 過去の災害を教訓とした訓練など、防災に係わるニュースを随時放送した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨洪水警報や避難勧告などが出た場合、自社ホームページやSNS（ツイッター、フェイスブック）の自社アカウントから情報を発信〔継続〕 ○ 警報級の災害発令の場合、速やかに特別番組を編成する。〔継続〕 ○ 警報など随時ニュース速報で対応〔継続〕 ○ 地上波放送及びネット配信で特別番組を編成し、現状や予報を発信する。〔継続〕

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災関連の自社制作番組を小中学校の授業で活用してもらう。[継続] ○ ニュース番組で、防災に関する必要な知識や情報を紹介 [継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夕方ニュース情報番組で、気象予報士が、長期地震動の仕組みなど、天気、災害ネタを視聴者に伝えた。 ○ 広島県内での南海トラフ地震発生時の影響や避難方法を伝えた。 ○ 能登半島地震の状況を応援クルーが伝えた際、広島県内で同様の地震が起きた場合の避難や、今すべき水道管の耐管対策など伝えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災関連の自社制作番組を小中学校の授業で活用してもらう。[継続] ○ ニュース番組で、防災に関する必要な知識や情報を紹介 [継続]
備 える	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュース番組等で、広島県防災Webなどのチェックを促し、L字放送などで早めの避難を呼びかける [継続] ○ 「広島防災」HPについては、引き続き防災情報を追加し充実を図る。[継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「広島防災」キャンペーンを行い、気象や避難など多角的な企画VTRを放送。HP上でもアップし幅広い人に周知した。 ○ 昼休みを利用して、地震発生マスターカット訓練を平日毎日行った。 ○ 南海トラフ地震に備え、在広5局でヘリコプター取材の協業運用を検討中 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュース番組等で、広島県防災Webなどのチェックを促し、L字放送などで早めの避難を呼びかける [継続] ○ 「広島防災」HPについては、引き続き防災情報を追加し充実を図る。[継続] ○ 南海トラフ地震初動対応で、在広5局ヘリコプター撮影の協業 [新規]

【株式会社中国新聞社】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知 る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 9月に全社的に開いた「安全の集い」の講演内容を社内ウェブサイトへアップし、幅広く情報共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島大学大学院先進理工系科学研究科の森拓郎教授を招いた「安全の集い」を9月11日に開催。能登半島地震の事例などから、被災直後の現場取材などの注意点について、社内ウェブサイトへアップし、広く周知した。 ○ 東日本大震災14年を前に、仙台市に本社を置く河北新報社主催の防災研修に本紙記者1人を初めて派遣。被災地、被災者を取材するとともに、社内で情報共有した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社員を対象に「安全を考える集い」を開催。さまざまな専門家を招いて話を聞き、まずは自分を、さらには家族を守る意識を醸成していく。取材時の注意点なども共有していく。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島市との防災情報に関する協定締結に基づき、防災行政無線の内容について、ケーブルテレビ回線を通じて専用受信機で確認できるサービスを継続する。 ○ 「中国新聞メルマガ」によ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災行政無線の内容について、ケーブルテレビ回線を通じて専用受信機で確認できるサービスを実施した。 ○ 中国新聞メルマガで、ユー 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年の広島市との防災情報の提供に関する協定締結以降、防災行政無線の内容について、ケーブルテレビ回線を通じて住宅に設置する専用受信機で確認できるサービスを継続実施する。 ○ 「中国新聞メルマガ（旧名

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
察知する	<p>って、読者に向けて地震や大雨などに関する詳しい災害情報、それに伴う交通情報などを発信して素早い避難を促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ウェブサイト「中国新聞デジタル」やニュースアプリ「みみみ」を通じて避難情報や地震の情報などを幅広く速報する。 ○ 小学生の学びに役立つ「ちゅーピー子どもウェブ」に、西日本豪雨をはじめ過去の災害の記事などを分かりやすく掲載し、防災教育の教材として役立ててもらおう。 	<p>ザーが気象、地震、津波警報、避難情報について、対象エリアを含めて選択できるサービスを継続している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ウェブサイト「中国新聞デジタル」、ニュースアプリ「みみみ」を通じて、上記の情報を随時速報、掲載している。 ○ 小学生向けサイト・ちゅーピー子どもウェブの「調べる」に防災のテーマを設置。中国新聞デジタルの専用サイトとリンクし、図解や写真を多用した解説記事を一覧して読めるよう工夫している。 	<p>ちゅーピーメルマガ)」を随時改良を重ねながら、読者、ユーザーに対し、より詳しい地震や大雨などに対する災害情報、それに伴う交通、ライフライン情報を発信し、素早い避難を促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害情報は、ウェブサイト「中国新聞デジタル」でも速報する。 ○ 小学生の学びに役立つウェブサイト「ちゅーピー子どもウェブ」（22年4月スタート）に、新聞で連載中の防災特集や、西日本豪雨などの過去の災害の記事を分かりやすく掲載。防災教育の教材として役立ててもらおう。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 過去の災害を教訓に「命や地域をどう守るのか」を最重点に報道し、避難行動に幅広く結び付くよう住民の意識に訴えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6・29豪雨災害25年報道では、記憶の風化にあらがう住民の姿を中心に伝えた。西日本豪雨6年報道では、慰霊行事などが行政主体から地域主体に移っていく時機をとらまえて自助・共助のありようを中心に追った。広島土砂災害10年報道では、当時の教訓が官民にどう生かされているかを検証した。 ○ 広島土砂災害、西日本豪雨に関する記事や防災をテーマにした特集を中国新聞デジタルに無料で公開している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 西日本豪雨以降、「命を守る」を最重点として報道してきた。出水期などに災害に関する情報を逐次提供するとともに、年間を通じて防災意識を啓発する報道を展開していく。
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 南海トラフ巨大地震も含めて防災上の問題点をニュースや連載・特集などで示し、住民の啓発の一助につなげる。災害時の心構えなどについても報道し、安全安心について、さまざまなテーマで掘り下げる。 ○ 能登半島地震で浮き彫りになったのは過疎高齢化が著しい地域での防災体制の難しさ。共通の課題と捉え直し、教訓を生かした報道を心掛ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上記の3点の周年報道を通じて、日頃の防災の大切さをはじめ、被災の記憶を風化させず生かしていくことの意義を多面的に手厚く伝えた ○ 南海トラフ地震、能登半島地震について、広島とのつながりを継続的に報道し、住民に「自分ごと」として捉えるよう訴えている。 ○ 能登半島地震を他人事にならないために、広島とのつながりも含めて継続的な報道に努めている 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災上の問題点を紙面・デジタルを通じてニュースや連載特集などで示し、住民への啓発の一助につなげる。災害時の心構えや過去の教訓についても継続的に報道。安全安心にかかわるさまざまなテーマを掘り下げていく。

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社内の主要拠点での災害時に必要な備蓄について、定期的に状況を把握・管理しながら、随時積み増す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 必要な備蓄は定期的に確認し、随時積み増したり、ローリングストックしている。 ○ 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が令和6年8月、運用開始以降初めて発表されたのを受け、社の「災害時行動ハンドブック」の更新、見直し作業に着手した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社内の主要拠点で実施している災害時に必要な備蓄について、定期的な点検を継続 ○ 災害時の社員安否確認の訓練の継続 ○ 「災害時行動ハンドブック」のアップデート

【広島エフエム放送株式会社】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「みんなで減災」推進大使が各生放送番組に出演して周知 ○ 「みんなで減災」推進大使として、各種イベントへ出演。ステージイベントやブースにおいて、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動を周知 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 下半期には2回実施 ○ 県依頼によるイベント出演は無かったが、2件イベントに出演し実施。 9/8 中国新聞主催イベント 9/21 たられば防祭 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「みんなで減災」推進大使として、各種イベントへ出演。ステージイベントやブースにおいて、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動を周知
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨や台風接近時などには、気象情報・避難情報を特に詳しく番組を通じて周知 ○ 大使の番組出演時に、「Yahoo!防災速報」アプリ等の各種ツール登録呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 7月・8月の大雨・台風接近時には、ウェザーニューズ社気象予報士による出演や特別編成にて実施。 ○ 11月初旬の大雨等、事前に ○ LINEでのタイムライン作成について改めて行った 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨や台風接近時などには、気象情報・避難情報を特に詳しく番組を通じて周知
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発災時の安否確認方法、緊急時マニュアルの確認と随時更新 ○ 大使の番組出演時に、県が開催する一斉地震防災訓練（シェイクアウト）や県内の防災訓練の周知、参加呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和6年能登半島地震を受け、安否確認方法、緊急時マニュアルの改訂を行っている。 ○ 安否確認システムを導入し、社内で訓練を行った。 ○ 番組内での周知を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発災時の安否確認方法、緊急時マニュアルの確認と随時更新 ○ 安否確認システムによる社内訓練の実施。
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 有識者との情報交換を定期的に実施 ○ 県内コミュニティFM事業者との情報交換、連携方法等の意見交換を継続 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島経済大学松井一洋名誉教授とは常に情報交換を行っている他、広島地方気象台担当者と意見交換会を行った。 ○ 継続的に実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 有識者との情報交換を定期的に実施 ○ 県内コミュニティFM事業者、行政の担当部局、インフラ企業等との情報交換、連携

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新たなスタッフ、番組出演者へ、「災害時の対応」について勉強会を実施 ○ HFM 防災ハンドブック 2024を使用した番組内クイズコーナー「防災Q」企画展開実施 ○ 防災ハンドブックを活用したワークショップやイベント、学校への出前授業等の実施 ○ 【新規】RCC ラジオと「災害時におけるラジオ放送の相互協力に関する協定」の元、RCC ラジオとの情報交換、連携方法などの意見交換を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4月に新番組スタッフ、新出演者に対して、複数回に分けて実施した。 ○ 今年度も「わが家の防災ハンドブック」と題して制作し、実施した。 ○ 午後の生放送番組内で「防災Q」と題して、ハンドブックの中からクイズを出題している。また、上記記載イベント2件を実施。 ○ 下記、特別番組制作に伴い、情報交換、意見交換を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 方法等の意見交換を継続 ○ 新たなスタッフ、番組出演者へ、「災害時の対応」について勉強会を実施 ○ HFM 防災ハンドブック 2025の制作、配布、配布に合わせた番組内企画展開実施 ○ レギュラー番組内コーナー「防災Q」から発展させたイベント等の実施 ○ 防災ハンドブックを活用したワークショップやイベント、学校への出前授業等の実施 ○ RCC ラジオと「災害時におけるラジオ放送の相互協力に関する協定」の元、RCC ラジオとの情報交換、連携方法などの検討
備 える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大使の番組出演時に県の「備えるフェア」の周知 ○ 梅雨や台風シーズンは、番組を通して、注意喚起 ○ 過去の災害発生日に合わせて、番組等で再度取り上げ、注意喚起 【新規】RCC ラジオとの協定に基づき、3月11日前後に共同制作番組を放送 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6月、1月に実施した。 ○ 11月の大雨時等に実施した。 ○ 8月20日等に実施。 ○ 1月には特に「地震」について番組内で取り上げた。 ○ 「RCC×HFM 共同特別番組 ひろしま防災ラジオ」を3月8日（土）放送。広島県危機管理課の防災職の職員に出演を依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 梅雨や台風シーズンは、番組を通して、注意喚起 ○ 過去の災害発生日に合わせて、番組等で再度取り上げ、注意喚起 ○ RCC ラジオとの協定に基づき、3月11日前後に共同制作番組を放送

【広島地方気象台】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知 る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和6年度中に実施予定の各種防災気象情報の改善に関する取組について、地域住民に避難判断の参考として活用してもらうため、自治体、報道機関等を通じた周知広報を行う。[継続] ○ 各種キキクル（危険度分布） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県内の市町が主催する地域の防災訓練や地域防災リーダー育成において、地域防災支援とし出前講座を実施した。また、毎月1回広島県内の報道機関を対象とした各種防災気象情報の勉強会等の機会を捉えて、報道機関向けに周知広報を実施した。 ○ 広島県内の市町が主催する 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和7年度中に実施予定の各種防災気象情報の改善に関する取組について、地域住民に避難判断の参考として活用してもらうため、自治体、報道機関等を通じた周知広報を行う。[継続] ○ 各種キキクル（危険度分

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知る	を地域住民に避難判断の参考として活用してもらうため、自治体、報道機関等を通じた周知広報を行う。[継続]	会議や報道機関向けの勉強会等の場で、各種キック（危険度分布）の上手な利活用方法について解説した。	布）を地域住民に避難判断の参考として活用してもらうため、自治体、報道機関等を通じた周知広報を行う。[継続]
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民が防災気象情報を受ける第一の手段はテレビ・ラジオと想定されることから、報道機関との懇談会を実施し、気象台が発表する防災気象情報について周知広報を行う。[継続] ○ 避難行動の判断材料となる防災気象情報の意味と、とるべき行動、及び情報の入手手段等について、住民に対する周知広報を行う。[継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4月、11月に報道機関への勉強会と題し、新たな防災気象情報に関する説明や意見交換会を実施した。 ○ 小学校等での防災授業や防災訓練等の機会を捉えて、生徒・児童を含めた一般住民向けの防災気象情報に関する周知広報を適宜実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民が防災気象情報を受ける第一の手段はテレビ・ラジオと想定されることから、報道機関との懇談会を実施し、気象台が発表する防災気象情報について周知広報を行う。[継続] ○ 避難行動の判断材料となる防災気象情報の意味と、とるべき行動、及び情報の入手手段等について、住民に対する周知広報を行う。[継続]
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民が防災気象情報を受ける第一の手段はテレビ・ラジオと想定されることから、報道機関との懇談会を実施し、気象台が発表する防災気象情報について周知広報を行う。[継続] ○ 避難行動の判断材料となる防災気象情報の意味と、とるべき行動、及び情報の入手手段等について、住民に対する周知広報を行う。[継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4月、11月に報道機関への勉強会と題し、新たな防災気象情報に関する説明や意見交換会を実施した。 ○ 小学校等での防災授業や防災訓練等の機会を捉えて、生徒・児童を含めた一般住民向けの防災気象情報に関する周知広報を適宜実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民が防災気象情報を受ける第一の手段はテレビ・ラジオと想定されることから、報道機関との懇談会を実施し、気象台が発表する防災気象情報について周知広報を行う。[継続] ○ 避難行動の判断材料となる防災気象情報の意味と、とるべき行動、及び情報の入手手段等について、住民に対する周知広報を行う。[継続]
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企業・団体、防災関係機関が開催する研修、訓練、講演会等での、防災気象情報に関連する研修、講演等の依頼には可能な限り対応し、職員を派遣の上、防災気象情報の普及啓発を図る。[継続] ○ 地方公共団体防災担当者向けの気象防災ワークショップを関係機関と連携して実施する。[継続] ○ 気象庁ワークショップ「経験したことのない大雨 そのときどうする？」について、関係機関と連携して実施する。[継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企業・団体が開催する研修やセミナーに講師を派遣した。 ○ 気象防災ワークショップの未実施の自治体を主な対象としてワークショップを実施した。 ○ 8月には教育関係機関と連携し、学校関係者が参加する会議で気象庁ワークショップを実施した。 ○ 公民館等が主催する会議でおこなう気象庁ワークショップに参画した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企業・団体、防災関係機関が開催する研修、訓練、講演会等での、防災気象情報に関連する研修、講演等の依頼には可能な限り対応し、職員を派遣の上、防災気象情報の普及啓発を図る。[継続] ○ 気象庁ワークショップ「経験したことのない大雨 そのときどうする？」について、関係機関と連携して実施する。[継続]
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域防災支援の取組の強化を行う。[継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災気象情報に関するYoutube 解説資料を定期的作成し、自治体防災担当者へ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域防災支援の取組の強化を行う。[継続]

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ JETT（気象庁防災対応支援チーム）の体制強化や市町等の関係機関と共同での「振り返り」実施等の取組を一層推進する。[継続] ○ 地域の実情に応じたきめの細かい気象解説ができるように「あなたの町の予報官」の取組を実施する。[継続] 	<p>共有し防災業務への支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 7月、11月の大雨及び8月の台風第10号では県庁に職員をJETT（気象庁防災対応支援チーム）として派遣した。また、派遣の約1か月後までには振り返りを実施し今後の連携強化をはかった。 ○ 毎年、年度初めには、各市町の首長を訪問し「あなたの町の予報官」の取組について、説明を実施している。また、1年を通して振り返りを実施していない市町に対しても、打合せなど機会を捉えて積極的に「あなたの町の予報官」との顔の見える関係の構築に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ JETT（気象庁防災対応支援チーム）の体制強化や市町等の関係機関と共同での「振り返り」実施等の取組を一層推進する。[継続] ○ 地域の実情に応じたきめの細かい気象解説ができるように「あなたの町の予報官」の取組を実施する。[継続]

【中国地方整備局】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路施設等に海拔情報を表示し、避難時の目安となる情報を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路施設等に海拔情報を表示し、避難時の目安となる情報提供を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路施設等に海拔情報を表示し、避難時の目安となる情報を提供する。[継続]
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中国地方整備局 WEB サイト等において、以下の防災情報を提供 [継続] 【全般】 防災体制情報、TEC-FORCE 活動状況 【河川】 川の防災情報（洪水予報、水防警報、ダム放流通知）、浸水想定区域図、水文水質データベース、NHK データ放送での配信 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水害リスクラインによる一般への水位情報提供 ・ 切迫感やリアリティーのある河川状況を伝えるため、簡易型河川監視用カメラや YouTube を活用した河川監視カメラの映像配信 ・ 設置した危機管理型水位計により越水危険箇所の水位情報を公開し住民の主体的な避難を促進 ・ 平成30年7月豪雨及び令和3年8月大雨で土砂災害 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【全般】 ホームページで体制情報や TEC-FORCE の活動状況を発信している。 【河川】 左記の防災情報について、継続して中国地方整備局 WEB サイト等において提供している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 左記の取組を継続 気象台キキクルへの表示（R5年～） ・ 左記の取組を継続 ・ 左記の取組を継続 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中国地方整備局 WEB サイト等において、以下の防災情報を提供 [継続] 【全般】 防災体制情報、TEC-FORCE 活動状況 【河川】 川の防災情報（洪水予報、水防警報、ダム放流通知）、浸水想定区域図、水文水質データベース、NHK データ放送での配信 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水害リスクラインによる一般への水位情報提供 ・ 切迫感やリアリティーのある河川状況を伝えるため、簡易型河川監視用カメラや YouTube を活用した河川監視カメラの映像配信 ・ 設置した危機管理型水位計により越水危険箇所の水位情報を公開し住民の主体的な避難を促進 ・ 平成30年7月豪雨及び令和3年8月大雨で土砂災害

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
察知する	<p>により甚大な被災を受けた地区において、早期避難などに役立てていただくための溪流監視カメラ画像の一般公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報発信の強化のため、X等の SNS 公式アカウントを通じた災害情報の提供（試行） <p>【道路】道路情報提供（交通規制、道路気象情報）、事前通行規制区間情報、冬季道路情報（道路ライブ画像、通行止め予定区間）</p> <p>【港湾】ナウファス（全国港湾海洋波浪情報網）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 携帯電話事業者が提供する緊急速報メールサービスを活用した洪水情報のプッシュ型配信を実施 ○ 令和3年8月大雨箇所による被災箇所についてワイヤーセンサーによる警戒を実施 ○ 各放送局への河川カメラ映像の提供 ○ 特別警報発表時など生活に影響を及ぼすような災害が発生するおそれがある場合に、円滑な避難や被害の防止・軽減に資するため、气象台との合同記者会見を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 左記の取組を継続 ・ 左記の取組を継続 ・ 左記の取組を継続 <ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を継続 ○ 左記の取組を継続 ○ 左記の取組を継続 <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和6年8月の台風10号時において、広島地方气象台、中国運輸局、NEXCO 西日本と合同記者会見を行い、災害情報の発信を実施した。 	<p>害により甚大な被災を受けた地区において、早期避難などに役立てていただくための溪流監視カメラ画像の一般公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報発信の強化のため、X等の SNS 公式アカウントを通じた災害情報の提供（試行） <p>【道路】道路情報提供（交通規制、道路気象情報）、事前通行規制区間情報、冬季道路情報（道路ライブ画像、通行止め予定区間）</p> <p>【港湾】ナウファス（全国港湾海洋波浪情報網）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 携帯電話事業者が提供する緊急速報メールサービスを活用した洪水情報のプッシュ型配信を実施〔継続〕 ○ 令和3年8月大雨箇所による被災箇所についてワイヤーセンサーによる警戒を実施〔継続〕 ○ 各放送局への河川カメラ映像の提供〔継続〕 ○ 特別警報発表時など生活に影響を及ぼすような災害が発生するおそれがある場合に、円滑な避難や被害の防止・軽減に資するため、气象台との合同記者会見を実施。〔継続〕
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「中国地方の防災に関する連絡会」における情報共有・伝達訓練 ○ 国の機関、5県2市及び通信事業者やバス協会等の民間企業等が参加する「中国地方の防災に関する連絡会」における南海トラフ巨大地震を想定した災害対応についての情報・共有伝達訓練を実施予定 ○ 要配慮者利用施設について避難確保計画作成のため、「講習会の企画調整及び運営マニ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時における連絡体制の共有 令和6年8月の台風10号においては進路予想等の最新情報の共有を実施した。 ○ 令和7年1月22日に40機関が参加し左記の訓練を実施した。 ○ 要配慮者利用施設について避難確保計画作成のため、「講習会の企画調整及び運営マニ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国の機関、5県2市及び通信事業者やバス協会等の民間企業等が参加する「中国地方の防災に関する連絡会」における南海トラフ巨大地震を想定した災害対応についての情報・共有伝達訓練を実施予定 ○ 要配慮者利用施設について避難確保計画作成のため、「講習会の企画調整及び運営マニ

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
行動する	マニュアル」を提供し、避難対応の推進を支援	マニュアル」を提供し、避難対応の推進を支援	マニュアル」を提供し、避難対応の推進を支援
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災教室、防災訓練、防災イベント等（広島市を中心に展開予定）[継続] ○ 防災教育の取組強化 [継続] <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育現場と連携・協力し、防災教育の支援を実施（整備局が持っている災害時のリアルな写真や映像・データなどを提供、気象台・地理院とも連携した取組を実施） ○ マイ・タイムラインの普及 [継続] <ul style="list-style-type: none"> ・ 流域の小中学校、または自治会において、マイ・タイムライン出前講座を実施。マイ・タイムライン作成の過程でハザードマップを見てもらい、自分自身の災害に対する危険性を把握してもらう。 ○ 中国地方防災研究会及び（一社）中国建設弘済会との共催で、中国地方における地震、台風、豪雨など極端な気象に関する防災体制の整備強化と関係者の意識向上を目的に、中国地方防災研究会講演会を開催 [継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地震・津波対策訓練 広島県総合防災訓練 安佐南防災フェス 防災イベント in マツダスタジアム 広テレ主催防災フェスなど ○ 左記の取組を継続するとともに、取組の一つとして、福山市主催の防災フェスタに参加し防災情報の紹介等をおこなった。 ○ 土曜の日(11月18日)に防災出前講座を実施。 ○ 広島県内の各河川系事務所において、マイ・タイムライン出前講座を実施した。 ○ 中国地方防災研究会及び（一社）中国建設弘済会との共催で、中国地方における災害に対する防災体制の整備強化と関係者の意識向上を目的に、中国地方防災研究会講演会を2月28日に開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災教室、防災訓練、防災イベント等（広島市を中心に展開予定）[継続] ○ 防災教育の取組強化 [継続] <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育現場と連携・協力し、防災教育の支援を実施（整備局が持っている災害時のリアルな写真や映像・データなどを提供、気象台・地理院とも連携した取組を実施） ○ マイ・タイムラインの普及 [継続] <ul style="list-style-type: none"> ・ 流域の小中学校、または自治会において、マイ・タイムライン出前講座を実施。マイ・タイムライン作成の過程でハザードマップを見てもらい、自分自身の災害に対する危険性を把握してもらう。 ○ 中国地方防災研究会及び（一社）中国建設弘済会との共催で、中国地方における地震、台風、豪雨など極端な気象に関する防災体制の整備強化と関係者の意識向上を目的に、中国地方防災研究会講演会を開催 [継続]

【広島県市長会（広島市）】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知 る	○ 各種広報媒体により災害に関する一般知識や備えなどの広報 [継続]	○ 広島市 HP や広報紙、市政出前講座、講演会・研修会等により、災害に関する一般知識や平素からの備えについて周知した。	○ 各種広報媒体により災害に関する一般知識や備えなどの広報 [継続]

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難誘導アプリのダウンロード促進 [継続] ○ 広島市防災情報メールの登録促進 [継続] ○ その他の避難情報の入手方法の周知 [継続] (広島市防災ポータル、広島市公式 LINE、広島市公式 SNS、テレビ、気象庁 HP など) ○ 緊急速報メールの活用の周知 [継続] ○ 防災ライブカメラの設置補助 [継続] ○ 防災行政無線屋内受信機の無償貸与 [継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島市 HP、SNS、市政出前講座、講演会・研修会、小学校への案内、デジタルサイネージ及びポスター掲示等により周知し、災害の危険性を察知する手段を確保するための支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難誘導アプリのダウンロード促進 [継続] ○ 広島市防災情報メールの登録促進 [継続] ○ その他の避難情報の入手方法の周知 [継続] (広島市防災ポータル、広島市公式 LINE、広島市公式 SNS、テレビ、気象庁 HP など) ○ 緊急速報メールの活用の周知 ○ 防災ライブカメラの設置補助 [継続] ○ 防災行政無線屋内受信機の無償貸与 [継続]
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織による防災訓練に対する補助 [継続] ○ 地域独自の防災マップ「わがまち防災マップ」の活用周知 [継続] ○ ひろしま避難誘導アプリのダウンロード促進 [継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災訓練の実施に係る補助金を交付する制度により、自主防災組織が効果的な訓練を実施できるよう支援した。 ○ 地域の危険性を自ら確認し、災害に備えることのできる「わがまち防災マップ」を本市ホームページへ掲載し、住民への活用、周知を図った。 ○ ひろしま避難誘導アプリのダウンロード促進のために以下の普及啓発を実施した。 普及啓発動画を本市の公式 YouTube、Twitter、Facebook で配信するとともに、マツダスタジアムや本通り交差点の大型モニターなどでも放映した。 ○ 公共施設やサービスエリア、市内の大学にチラシ・ポスターの配布、市立小学校、中学校、高校の児童・生徒へチラシを配布した。また、イベントや研修会等で使い方と機能を紹介した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織による防災訓練に対する補助 [継続] ○ 地域独自の防災マップ「わがまち防災マップ」の活用周知 [継続] ○ ひろしま避難誘導アプリのダウンロード促進 [継続]
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織による防災講演会や研修会等の開催に対する支援 [継続] ○ 講演会・研修会・市政出前講座の開催 [継続] ○ 「広島市豪雨災害伝承館」等を巡る被災地防災研修会の開催に対する支援 [継続] ○ 災害を追体験できる取組の推進 [継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災まちづくり事業により、防災講演会や研修会の開催に対する支援を実施（講師謝礼金等）した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織による防災講演会や研修会等の開催に対する支援 [継続] ○ 講演会・研修会・市政出前講座の開催 [継続] ○ 「広島市豪雨災害伝承館」等を巡る被災地防災研修会の開催に対する支援 [継続] ○ 災害を追体験できる取組の推進 [継続]

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
学 ぶ	○ 普及啓発冊子「たちまち防災」を活用した、地域防災リーダーによる研修の実施〔継続〕	○ 「たちまち防災」を活用した研修を地域防災リーダーが実施するよう促した。	○ 普及啓発冊子「たちまち防災」を活用した、地域防災リーダーによる研修の実施〔継続〕
備 える	○ 地域防災リーダーの養成事業の実施〔継続〕 ○ 企業や各種団体が開催する防災イベントと連携し、日頃からの備えを啓発〔継続〕	○ 下半期に以下のとおり防災士養成講座を実施した。(資格取得者 196名) ※第1回講座実施日(11/30、12/1) ※第2回講座実施日(2/1、2/2) ○ ショッピングモール等が開催する防災イベントと連携し、避難誘導アプリのダウンロードや非常持ち出し品等の日頃からの備えを啓発した。	○ 地域防災リーダーの養成事業の実施〔継続〕 ○ 企業や各種団体が開催する防災イベントと連携し、日頃からの備えを啓発〔継続〕

【広島県町村会（坂町）】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知 る	○ 「地震防災マップ」・「津波・高潮ハザードマップ」、「土砂災害ハザードマップ」の広報誌やHPでの周知、転入者等に配布し啓発の実施 ○ 土砂災害警戒区域の確認方法を広報誌や町HPで周知 ○ 広島県防災情報システムを利用し、避難施設の設備状況、災害時における混雑状況等、情報提供の実施 ○ 「津波・高潮ハザードマップ」に、新たな一時避難場所を追加するとともに、発災時の避難行動や災害情報の入手方法等より分かりやすくし、住民の理解力の向上を図る。	○ 継続して町広報誌やHPで周知を行うとともに転入者に対しハザードマップ等を配布した。 ○ 広報「さか」6月に土砂災害警戒区域、河川監視カメラ、個別受信機械、テレビのデータ放送等の確認について掲載し周知を図った。 ○ ハザードマップの作成は国の被害想定見直しのため延期した。	○ 「地震防災マップ」・「津波・高潮ハザードマップ」、「土砂災害ハザードマップ」の広報誌やHPでの周知、転入者等に配布し啓発を実施 ○ 土砂災害警戒区域の確認方法を広報誌や町HPで周知 ○ 広島県防災情報システムを利用し、避難施設の設備状況、災害時における混雑状況等、情報提供の実施
察知する	○ 防災行政無線等により災害情報を周知すると共に、町の自主避難先の開設情報や高台等への駐車場確保に関する情報を周知 ○ エリアメール（NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク、楽天モバイル）、テレビdボタン広報誌による、災害情報の周知	○ 町HP等により左記の周知等を行った。	○ 防災行政無線等により災害情報を周知すると共に、町の自主避難先の開設情報や高台等への駐車場確保に関する情報を周知 ○ エリアメール（NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク、楽天モバイル）、テレビdボタン広報誌による、災害情報の周知

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 戸別受信機の無償貸与を実施し、避難情報をより確実に伝達するほか、難聴世帯に対しては個別アンテナの設置 ○ 河川監視カメラの設置及び映像公開情報の周知 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 戸別受信機の無償貸与を実施し、避難情報をより確実に伝達するほか、難聴世帯に対しては個別アンテナの設置 ○ 河川監視カメラの設置及び映像公開情報の周知
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難施設をいち早く開設する体制を庁内で整備 ○ 高齢者等避難を発令する前であっても、災害の危険性が考えられる場合、また夜間になる前に自主避難所を開設 ○ 消防団と協働し、町内全地域の災害に対応可能な体制を整備 ○ 消防団員への普通救命講習の実施（11/24、1/26 予定） ○ 自主防災組織に対し「避難の呼びかけ体制づくり」の支援を実施 ○ 民間社会福祉法人が整備する障害福祉サービス施設の一部を災害時の一次避難場所として利用するための整備を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 8/29 台風10号通過時、避難情報発表に至らなかったが、夜間になる前に自主避難所を開設し早めの体制を整えた。 ○ 消火栓訓練（11/10）を実施し町民の災害対応能力の向上を図った。 ○ 消防団員の普通救命講習を実施して技能の向上を図った。（7/21、2/2） ○ 6/2 自主防災組織の避難訓練への防災展示等の支援を実施した。 ○ 新たに障害福祉サービス施設「ほほえみタウン坂」が開業し、一時避難場及び福祉避難所として1箇所避難所を増やした。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難施設をいち早く開設する体制を庁内で整備 ○ 高齢者等避難を発令する前であっても、災害の危険性が考えられる場合、また夜間になる前に自主避難所を開設 ○ 消防団と協働し、町内全地域の災害に対応可能な体制を整備 ○ 消防団員への普通救命講習の実施 ○ 自主防災組織に対し「避難の呼びかけ体制づくり」の支援を実施 ○ 総合防災訓練を実施し、関係機関との連携協力体制を確立するとともに、地域住民の防災意識の高揚を図る。
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災リーダーの養成 10/3～12/11 までの間、全6回実施予定 ○ 防災士の養成 11/30、12/1 に実施予定 ○ 地域の自主的な防災活動の支援 11/3 自主防災組織の防災訓練への講師派遣支援を実施予定 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災リーダー養成講座及び防災士養成講座受講者を住民協会長への案内、広報「さか」、HP、公式LINEへの掲載により募集を行った。 ○ 防災リーダー養成講座開催し、10名に受講証を交付した。 ○ 防災士養成講座（11/30・12/1）を受講し、5名の防災士を養成した。 ○ 防災士連絡会（2/23）を開催し、19名が参加し、フォローアップの防災講座及び活動報告を実施して連携を図った。 ○ 自主防災組織の防災マップづくりの支援を行った。（11/23） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災リーダーの養成 ○ 防災士の養成 ○ 地域の自主的な防災活動の支援 ○ 写真や映像を通じて災害や避難について学べる災害伝承ホールや災害・復興記録誌により、災害の実態を後世に伝えていく。

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真や映像を通じて災害や避難について学べる災害伝承ホールにより、災害の実態を後世に伝えていく。逐次、視察等を受入れ対応を予定 ○ 30年7月豪雨災害の被害状況や復旧・復興の取り組みを記録誌としてまとめ、被災から得た教訓を後世に継承し、町民の防災意識の更なる向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 7/1～7/7 坂町防災週間として、公共施設において防災ビデオの上映とパネル展示を行い防災への意識及び知識の向上を図った。 ○ NIPPON 防災資産の認定を受け、引き続き災害の実態を後世に伝えていく。 ○ 坂町 災害・復興記録誌「伝承」を町内全戸配布し、町民の防災意識の向上を図った。 	
備 える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難情報発令時に「非常持出品の携行」について防災行政無線等で周知 ○ 公共施設において非常持出品を展示し、準備を提唱 ○ 町広報誌等において、備蓄の呼びかけ ○ マイ・タイムラインの全戸配布 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町広報誌等において「非常持出品」「備蓄」について呼びかけを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難情報発令時に「非常持出品の携行」について防災行政無線等で周知 ○ 公共施設において非常持出品を展示し、準備を提唱 ○ 町広報誌等において、備蓄の呼びかけ ○ マイ・タイムラインの全戸配布

【広島県教育委員会】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知 る	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハザードマップ等を活用し、災害危険箇所、避難場所、避難経路を確認。訓練実施後に避難場所・避難経路等の見直しを実施するよう各学校に指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハザードマップ等を活用し、災害危険箇所、避難場所、避難経路を確認、訓練実施後に避難場所・避難経路等の見直しを実施するよう各学校等各学校に指導した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハザードマップ等を活用し、災害危険箇所、避難場所、避難経路を確認。訓練実施後に避難場所・避難経路等の見直しを実施するよう各学校等に指導
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校によるまち歩きや防災マップの作成による災害危険箇所等の確認 ○ 各学校による一斉防災訓練への参加や避難行動の確認 ○ 各学校による災害種別に対応した危機管理マニュアルの作成・見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6月の一斉防災教室及び11月の一斉地震防災訓練実施後に、危機管理マニュアル等を見直すよう各学校等に指導した。 ○ 6月の一斉防災教室及び11月の一斉地震防災訓練参加に係る通知を各学校等に発出して、防災教育の充実を働きかけた。 ○ 文部科学省調査「学校安全取組状況調査」の取りまとめ結果等を基に、危機管理マニュアルの見直し等を各学校等に指導した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校によるまち歩きや防災マップの作成による災害危険箇所等の確認 ○ 各学校による一斉防災訓練への参加や避難行動の確認 ○ 各学校による危機管理マニュアルの作成・見直し

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町内会、自主防災組織等、地域と連携した防災訓練の実施 ○ まち歩きや防災マップの作成による災害危険箇所等の確認 ○ 学校における防災教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災教育を推進するための教職員研修の実施 ・ 「ひろしまマイ・タイムライン」の活用事例を紹介 ・ 「防災教育の手引」を活用した「防災に関する授業」の推進 ○ ホットライン教育ひろしまで公民館職員に、公民館等で防災等をテーマにした学習講座を企画する際に活用できる情報を提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 梅雨期及び台風期に、地域の関係機関と連携を図り、危機管理マニュアルを整備し、防災態勢を強化するよう指導した。 ○ 「防災週間」及び「津波防災の日」の周知の際、関係機関と連携をして、防災体制の整備に努めるよう指導した。 ○ 6月の一斉防災教室実施後に、危機管理マニュアル等を見直すよう指導した。 ○ 学校における防災教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各学校等に対して、中学生対象の「防災 e-ラーニング教材」を周知した。 ・ 市町教育委員会の担当者を対象とした会議において、避難訓練の好事例を紹介した。 ・ 初任者教諭を対象とした研修において「ひろしまマイ・タイムライン」の指導の在り方を検討させた。 ・ 各学校等の学校安全担当者を対象とした講習会において、「防災教育の手引」を活用した内容の講義・協議を行った。 ○ 防災講座用のパンフレットや映像、パネル等が活用できるよう関係リンク先HPを紹介した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町内会、自主防災組織等、地域と連携した防災訓練の実施 ○ まち歩きや防災マップの作成による災害危険箇所等の確認 ○ 学校における防災教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災教育を推進するための教職員研修の実施 ・ 「ひろしまマイ・タイムライン」の活用事例を紹介 ・ 「防災教育の手引」を活用した「防災に関する授業」の推進 ○ ホットライン教育ひろしまで公民館職員に、公民館等で防災等をテーマにした学習講座を企画する際に活用できる情報を提供

【広島県】

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知 る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域、企業、学校等の参加による「一斉防災教室」、「一斉地震防災訓練」の実施 ・ 報道機関との連携によるテレビ・ラジオ等を通じた定期的な広報の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域、企業、学校等の参加による「一斉防災教室」、「一斉地震防災訓練」を実施した。(5/20～6/30、11/5) ・ 報道機関との連携によるテレビ・ラジオ等を通じて「みんなで減災」推進大使 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知 る	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災教室、広報番組、イベント等において、「広島県防災 Web」やポータルサイト「みんなで減災 はじめの一步」などの利用促進 ・ 県内の大規模イベント等における、「みんなで減災」推進大使による呼び掛け ・ 県内の大規模企業への訪問による従業員及びその家族による実施働きかけ <p>○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の利用による「知る」取組の推進</p> <p>○ 災害を可視化するためのVR教材の作成及びその教材を活用した疑似体験の実施</p> <p>○ 中小事業者等に事業継続計画(BCP)の策定支援を、引き続き行う。</p> <p>1. BCPの啓発(BCPを知る) 県内中小事業者等に対して、BCPの必要性や事業継続のマネジメント体制(BCM活動)の整備を訴える、専門家の「BCP策定推進フォーラム・普及啓発セミナー」の他に、県職員による企業訪問や、セミナーを実施する。</p> <p>2. BCP策定支援(BCPを策定する) BCP策定講座(1日コース)の他、内容を厳選して、従来のBCPよりも分量を減らし企業</p>	<p>を活用した広報を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災教室やチラシ等の媒体により、「広島県防災 Web」やポータルサイト「みんなで減災はじめの一步」などの利用を促進した。 ・ 防災啓発イベント等に参加し、防災タイムラインの作成を呼びかけた。 ・ 包括連携協定締結企業と防災減災の取組に係る連携を確認した。 ・ 内閣府主催の「ぼうさいこくたい2024」のセッションにオンラインで参加(10月19日) <p>○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の利用による「知る」取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなで減災推進課・河川課・砂防課の3課で連携した「ひろしま防災出前講座」の実施(広島地方気象台とも連携) 《実施》157校 <p>○ 「ひろしま防災出前講座」での活用や市町等への貸出を実施</p> <p>1. BCPの啓発(BCPを知る) 県内中小事業者等に対して、BCPの必要性や事業継続のマネジメント体制(BCM活動)の整備を訴える、専門家の「BCP普及啓発セミナー」の他に、県職員によるセミナーを実施した。 (2月末現在) ■ BCP普及啓発セミナー 90社159名 ■ 県職員によるセミナー 92社92名</p> <p>2. BCP策定支援(BCPを策定する) 1日かけて実施する、「BCP策定講座」の他、内容を厳選して、従来のBCPよりも分量を</p>	<p>○ 継続して取り組む</p> <p>○ 継続して取り組む</p> <p>○ 令和7年度についても、中小事業者等に事業継続計画(BCP)の策定支援を、引き続き行う。</p> <p>1. BCPの啓発(BCPを知る) 県内中小事業者等に対して、BCPの必要性や事業継続のマネジメント体制(BCM活動)の整備を訴える、専門家の「BCP普及啓発セミナー」を県内各地で実施する。</p> <p>2. BCP策定支援(BCPを策定する) BCP策定講座(1日コース)の他、内容を厳選して、従来のBCPよりも分量を減ら</p>

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
知る	<p>の規模や現状を考慮したBCP策定講座（半日コース）や策定済BCPの診断ポイント、更新ノウハウを伝える講座を実施する。</p> <p>3. BCM活動の推進（BCPを検証する） BCPの効果検証等を試みる「机上演習」の他、企業内でのBCP・BCMの浸透を目指す教育・演習等を実施する。</p> <p>4. 共助体制の構築 共助のハブとなりうる、同業種団体・組合等に対する講座や、サプライチェーンの中核企業及びその取引先企業向けの出張型講座（セミナー、策定講座、机上演習）を実施する。</p> <p>○ 土砂災害警戒区域等の認知度向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 土砂災害警戒区域等を示した標識について公共施設等に設置 避難行動を啓発するメッセージ等をポスターやSNS等の多様なメディアやツールを用いて情報発信する取組や、自主防災組織の代表者等を対象とした防災教室の開催など、避難につながる取組を推進し、区域指定の効果を高める取組を継続 <p>○ 「ため池ポータル」による情報の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き最新情報に更新していく。 <p>○ 山地災害危険地区情報システム（HP）での山地災害危険地区情報の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き最新情報に更新していく。 	<p>減らし企業の規模や現状を考慮した半日の講座を実施した。（2月末現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■BCP策定講座（1日コース） 90社 ■BCP策定講座（半日コース） 50社 <p>3. BCM活動の推進（BCPを検証する） BCPの効果検証等を試みる「机上演習」を実施した。（2月末現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■BCP検証机上演習 24社 ■BCP検証実動演習 41社 <p>4. 共助体制の構築 共助のハブとなりうる、同業組合やサプライチェーンの中核企業及びその取引先企業向けの出張型講座を実施した。（2月末現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■セミナー 157社 98名 ■策定講座 41社 ■机上演習 16社 <p>○ 土砂災害警戒区域等の認知度向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 土砂災害警戒区域等を示した標識について公共施設等への設置について詳細を調整した 新たなポスターおよび動画等広報物を制作した 呉市防災リーダー養成講習での講義を実施した <p>○ 「ため池ポータル」による情報の周知</p> <p>2月に最新情報の更新を行った</p> <p>○ 山地災害危険地区情報システム（HP）で山地災害危険地区の情報を周知した。</p>	<p>し企業の規模や現状を考慮したBCP策定講座（半日コース）を実施する。</p> <p>3. BCM活動の推進（BCPを検証する） BCPの効果検証等を試みる「机上・実動演習」の他、企業内でのBCP・BCMの浸透を目指す教育・演習等を実施する。</p> <p>4. 共助体制の構築 共助のハブとなりうる、同業組合に対する講座や、サプライチェーンの中核企業及びその取引先企業向けの出張型講座（セミナー、策定講座、机上演習）を実施する。</p> <p>○ 土砂災害警戒区域等の認知度向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 土砂災害警戒区域等を示した標識について公共施設等へ調整済の箇所から設置していく 新たなポスター等広報物を配布していく 作成した動画を活用した広報を展開する 幅広く防災教室（講義等）を実施する <p>○ 「ため池ポータル」による情報の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き最新情報に更新していく。 <p>○ 山地災害危険地区情報システム（HP）での山地災害危険地区情報の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き最新情報に更新していく。
察知する	<p>○ 気象情報・防災情報の意味の周知や、防災情報メールへの登録促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 報道機関との連携による、テレビ、ラジオ等を通じた、 	<p>○ 気象情報・防災情報の意味の周知や、防災情報メールへの登録促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 報道機関との連携によるテレビ・ラジオ等を通じて 	<p>○ 継続して取り組む</p>

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
<p>察知する</p>	<p>定期的な広報の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の大規模イベント等における、「みんなで減災」推進大使による周知 ・ 県広報番組、県広報誌等を通じた防災情報メールの登録の呼びかけ ・ 県内企業を訪問し、従業員及びその家族による登録を働きかけ <p>○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「察知する」取組の推進</p> <p>○ 防災情報の信頼性を高める取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土砂災害警戒情報の精度向上等の検討 ・ 土砂災害危険度情報システムを活用した自治体の防災情報発信に係る支援の強化 	<p>「みんなで減災」推進大使を活用した広報を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災教室やチラシ等の媒体により、「広島県防災 Web」やポータルサイト「みんなで減災はじめの一歩」などの利用を促進した。 ・ 防災啓発イベント等に参加し、防災タイムラインの作成を呼びかけた。 ・ 包括連携協定締結企業と防災減災の取組に係る連携を確認した。 <p>○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の利用による「察知する」取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなで減災推進課・河川課・砂防課の3課で連携した「ひろしま防災出前講座」の実施（広島地方気象台とも連携） <p>≪実施≫157校</p> <p>○ 防災アプリを活用したマイ・タイムラインの作成促進</p> <p>○ LINE 版マイ・タイムラインの作成を促進するとともに、地震・津波に関する通知機能等を追加</p> <p>○ 防災情報の信頼性を高める取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土砂災害危険度情報システムを活用した自治体の防災情報発信に係る支援 ・ 情報発信するホームページをユーザーにより分かりやすい構成に改良し公開した。 ・ 土砂災害警戒情報の精度向上等の検討業務に着手した。 	<p>○ 継続して取り組む</p> <p>○ 継続して取り組む</p> <p>○ 継続して取り組む</p> <p>○ 防災情報の信頼性を高める取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土砂災害警戒情報の精度向上等の検討を関係機関と調整しながら進める

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害の状況に応じた適切な避難行動等の周知や防災訓練等への参加の呼びかけ <ul style="list-style-type: none"> ・ 報道機関との連携による、テレビ、ラジオ等を通じた、定期的な広報の実施 ・ 県内の大規模イベント等における、「みんなで減災」推進大使による周知 ・ 「一斉防災教室」、「一斉地震防災訓練」の実施 ・ 県内企業を訪問し、従業員及びその家族に訓練等への参加を働きかけ ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「行動する」取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害の状況に応じた適切な避難行動等の周知や防災訓練等への参加の呼びかけ <ul style="list-style-type: none"> ・ 報道機関との連携によるテレビ・ラジオ等を通じて「みんなで減災」推進大使を活用した広報を実施した。 ・ 防災教室やチラシ等の媒体により、「広島県防災 Web」やポータルサイト「みんなで減災はじめの一步」などの利用を促進した。 ・ 防災啓発イベント等に参加し、防災タイムラインの作成を呼びかけた。 ・ 地域、企業、学校等の参加による「一斉地震防災訓練」を実施した。(5/20~6/30、11/5) ・ 包括連携協定締結企業と防災減災の取組に係る連携を確認した。 ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の利用による「行動する」取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなで減災推進課・河川課・砂防課の3課で連携した「ひろしま防災出前講座」の実施（広島地方気象台とも連携） ≪実施≫157校 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む ○ 継続して取り組む

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 普段から災害に備えるため災害に関する正しい知識の習得 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域、企業、学校等の参加による「一斉防災教室」、「一斉地震防災訓練」の実施 ・ 報道機関と連携した定期的な広報により、防災教室や防災訓練等への参加促進、災害から命を守る行動などについて周知 ・ 県内の大規模イベント等において、「みんなで減災」推進大使による防災教室の実施 ・ 県内の大規模イベント等における職員による防災教室の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 普段から災害に備えるため災害に関する正しい知識の習得 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域、企業、学校等の参加による「一斉地震防災訓練」を実施した。(5/20~6/30、11/5) ・ 報道機関との連携によるテレビ・ラジオ等を通じて「みんなで減災」推進大使を活用した広報を実施した。 ・ 防災教室やチラシ等の媒体により、「広島県防災 Web」やポータルサイト「みんなで減災はじめの一步」などの利用を促進した。 ・ 防災啓発イベント等に参加し、防災タイムラインの作成を呼びかけた。 ・ 包括連携協定締結企業と防災減災の取組に係る連携を確認した。 ・ 内閣府主催の「ぼうさいこくたい2024」のセッションにオンラインで参加(10月19日) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「学ぶ」取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の利用による「学ぶ」取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなで減災推進課・河川課・砂防課の3課で連携した「ひろしま防災出前講座」の実施(広島地方気象台とも連携) <<実施済>>157校 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害を可視化するためのVR教材の作成及びその教材を活用した疑似体験の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ひろしま防災出前講座」での活用や市町等への貸出を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県防災 Web に過去の災害記録を掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害記録を蓄積し、災害記憶の伝承に向けた取組を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県防災 Web に過去の災害記録を掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害記録を蓄積し、災害記憶の伝承に向けた取組を推進した(運営会議の開催) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県防災 Web に過去の災害記録を掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害記録を蓄積し、災害記憶の伝承に向けた取組を推進する。

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 砂防出前講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ VR 教材や大型模型など様々なツールを活用した出前講座の実施など効果的な防災教育を推進 ○ 水害リスク等の周知 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水害リスクや流域治水に関する認知度向上や取組主体の拡大を目的とした流域治水シンポジウムの開催 ○ 近年多発する山地災害及び防災対策、治山事業実施の効果などの理解促進を目的として説明会等を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 砂防出前講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ VR 教材や大型模型など様々なツールを活用した出前講座の実施など効果的な防災教育を推進した。 ○ 水害リスク等の周知 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水害リスクや流域治水に関する認知度向上や取組主体の拡大を目的とした流域治水シンポジウムを令和6年12月に開催した。 ○ 近年多発する山地災害及び防災対策、治山事業実施の効果などの理解促進を目的として小学生及び地元住民に対して学習会を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 砂防出前講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ VR 教材や大型模型など様々なツールを活用した出前講座の実施など効果的な防災教育を推進する。 ・ 家庭へのフィードバックを通じて親世代を巻き込むなどのメニューを展開する。 ○ 水害リスク等の周知 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水害リスクや流域治水の認知度向上のため、引き続きシンポジウムの開催や効果的な広報の検討・実施などに取り組んでいく。 ・ 防災教育動画や水害ハザードマップを活用した出前講座の実施など効果的な防災教育の推進 ○ 近年多発する山地災害及び防災対策、治山事業実施の効果などの理解促進を目的として説明会等を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き実施していく。
備 える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 普段から災害に備えるための行動を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 報道機関と連携した定期的な広報により、非常持出品の備えなどについて周知 ・ 「みんなで減災」備えるフェアの開催 ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「備える」取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 普段から災害に備えるための行動を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 報道機関との連携によるテレビ・ラジオ等を通じて「みんなで減災」推進大使を活用した広報を実施した。 ・ ホームセンターやショッピングセンターなどの生活に身近な場所において、非常持出品の特設コーナーを設置するなど、非常持出品として備えるべきものや、ローリングストックといった備え方の工夫などを周知する「みんなで減災」備えるフェアを開催した。 ≪開催期間≫ 6/22～7/8 108 企業 (2,787 店舗) 参加 1/11～27 156 企業 (2,807 店舗) 参加 ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「備える」取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなで減災推進課・河 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む ○ 継続して取り組む

行動目標	取組内容	令和6年度の取組状況	令和7年度の取組予定
備える		川課・砂防課の3課で連携した「ひろしま防災出前講座」の実施（広島地方気象台とも連携） <<実施>>157校	